

川崎市
食育の現状と意識に関する調査
報告書

平成28年3月

川崎市

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査対象者	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
第 2 章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 性×年齢	8
(4) 職業	9
(5) 平均的な勤務時間（残業含む）	9
(6) 現在の居住地	10
(7) BMI（身長、体重から算出）	11
(8) 同居している家族の人数（自身を含む）	12
(9) 同居している人	12
2. 普段の食生活について	13
(1) 1日の食事回数	13
(2) 主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数	14
(3) 朝食の有無	16
(4) 朝食を食べていない理由	19
(5) 1日に食べる野菜料理の量	20
(6) 外食の回数	22
(7) 食事を菓子やサプリメントで済ませる回数	23
3. 食卓での団らんについて	25
(1) 家族そろって食事をする頻度	25
(2) 家族以外と食事をする頻度	29
(3) 家族や友人・知人と食事をする頻度	33
4. 食育について	35
(1) 食育の認知度	35
(2) 食育に対する関心	36
(3) 関心のあること	37
(4) 地域で食育に関する活動や行動の状況	38
(5) 身近なところで食育を推進するために、必要な取り組み	40
5. 食の情報や安全について	41
(1) 食品を購入する時に参考になっている表示	41

(2) 健康的な食生活を実践するため参考にしているもの	42
(3) 影響を受ける食や食生活に関する情報源	44
(4) 資格を持った職員が活動している事を知っている資格	45
(5) 川崎産の農産物の認知度	46
(6) 川崎産農産物の購入の有無	48
(7) 家庭での「行事食」の摂取状況	50
6. 災害時の非常食について	51
(1) 災害に備えた非常用の食料や飲料の有無	51
(2) 用意している非常用の食料等	52
7. 健康について	53
(1) 現在の健康状態	53
(2) 健診（健康診断、健康診査、人間ドック等）の有無	54
(3) 生活習慣病の予防及び改善のためにできること	55
8. 理想の食事・食卓について	67
(1) 自身の食生活に対する評価	67
(2) 理想的な食事・食卓	68
(3) 理想的な食事・食卓にするために必要なもの	69
資料 調査票	71

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

現在、市民運動として食育を推進していくための基本指針として、川崎市食育推進計画を進めている。食に関する課題を整理及び検討した上で、本市の食育推進のあり方を明確にし、より一層の食育の充実と推進を目標とした現行の食育推進計画の評価及び次期食育推進計画を策定するため、市民の食に関する現状や考え方等を聞くための調査を実施した。

2. 調査対象者

川崎市在住の満20歳以上の市民3,500名

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査（お礼兼督促はがきの発送1回）

調査期間：平成28年1月8日（金）～平成28年1月25日（月）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
3,500件	1,389件	39.7%

【地区別内訳】

地区別	発送数	回収数	回収率
川崎区	547	200	36.6
幸区	386	157	40.7
中原区	592	235	39.7
高津区	540	212	39.3
宮前区	530	193	36.4
多摩区	500	185	37.0
麻生区	405	172	42.5
無回答		35	2.5
合計	3,500	1,389	39.7

【年代別内訳】

年代別	発送数	回収数	回収率
20歳代	598	134	22.4
30歳代	700	227	32.4
40歳代	734	278	37.9
50歳代	550	246	44.7
60歳代	491	250	50.9
70歳代以上	427	220	51.5
無回答		34	2.4
合計	3,500	1,389	39.7

4. 調査項目

1. 普段の食生活について
2. 食卓での団らんについて
3. 食育について
4. 食の情報や安全について
5. 災害時の非常食について
6. 健康について
7. 理想の食事・食卓について

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）において、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

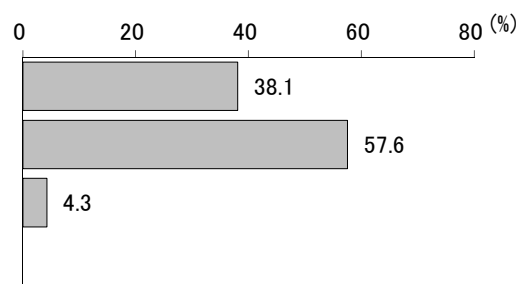
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 性別

<図表1 性別>

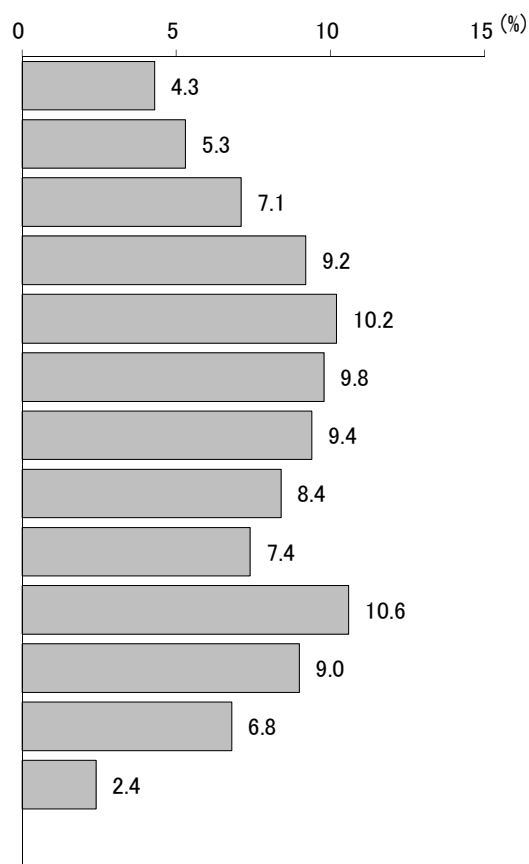
	基数	構成比
男性	529	38.1%
女性	800	57.6%
無回答	60	4.3%
全体	1,389	100.0%



(2) 年齢

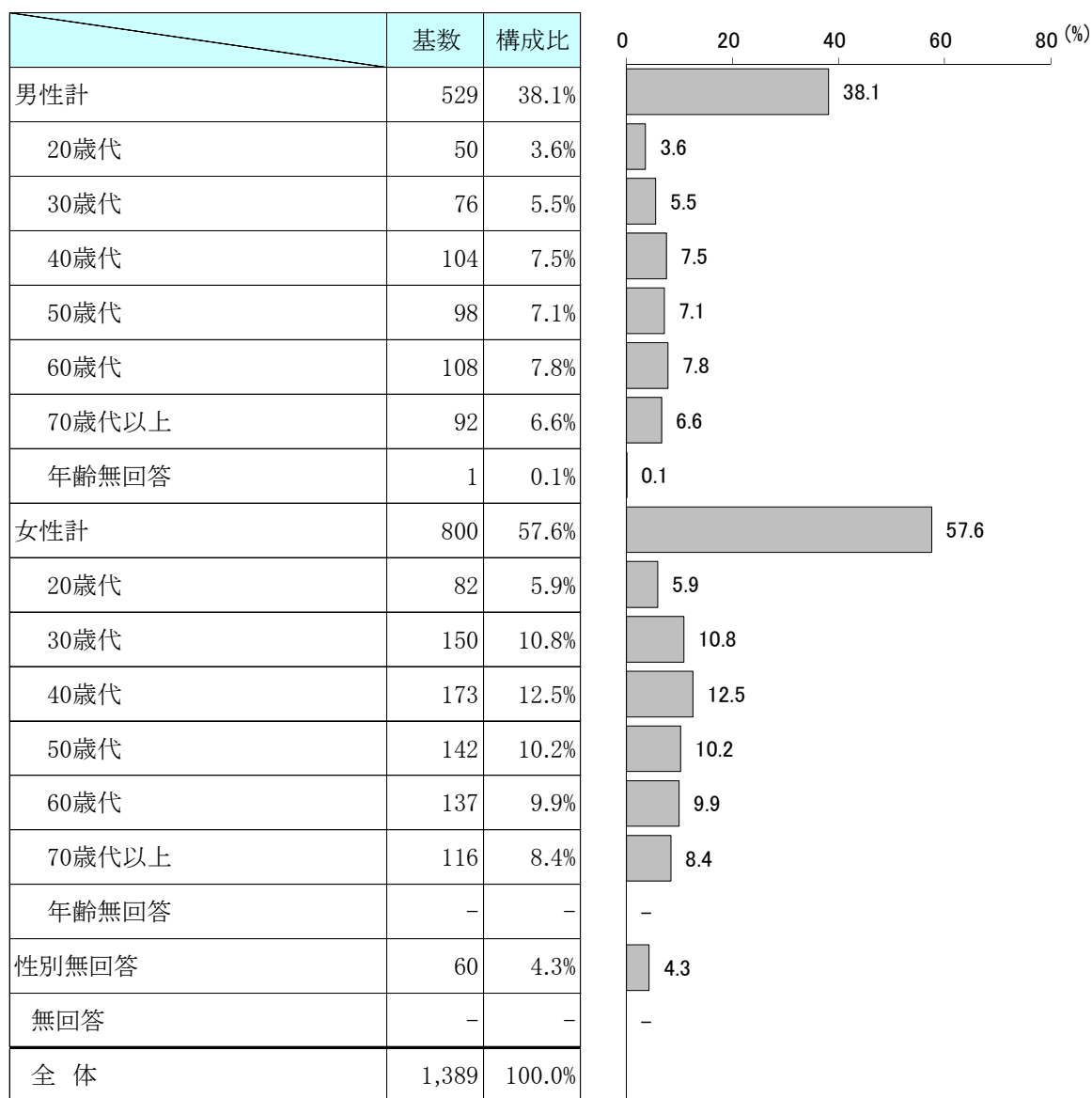
<図表2 年齢>

	基数	構成比
20～24歳	60	4.3%
25～29歳	74	5.3%
30～34歳	99	7.1%
35～39歳	128	9.2%
40～44歳	142	10.2%
45～49歳	136	9.8%
50～54歳	130	9.4%
55～59歳	116	8.4%
60～64歳	103	7.4%
65～69歳	147	10.6%
70～74歳	125	9.0%
75歳以上	95	6.8%
無回答	34	2.4%
全体	1,389	100.0%



(3) 性×年齢

<図表3 性・年齢>

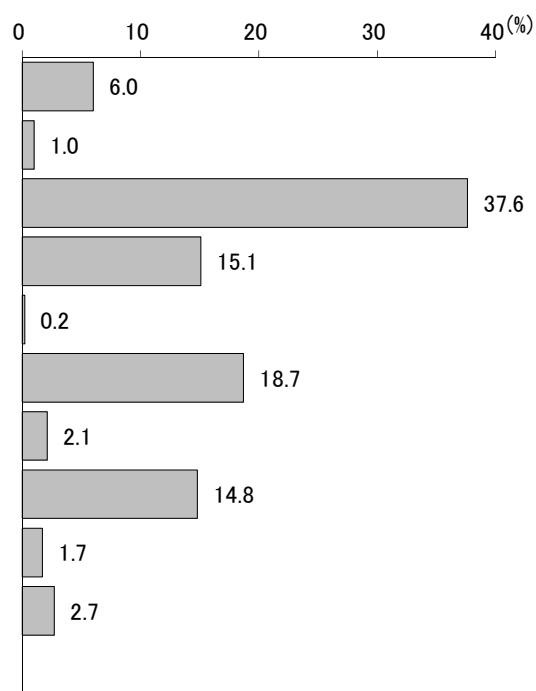


※性・年齢別のクロス集計では、性別が無回答の場合と年齢が無回答の場合がある。今回、男性で年齢が無回答の方が1名となっている。

(4) 職業

<図表4 職業>

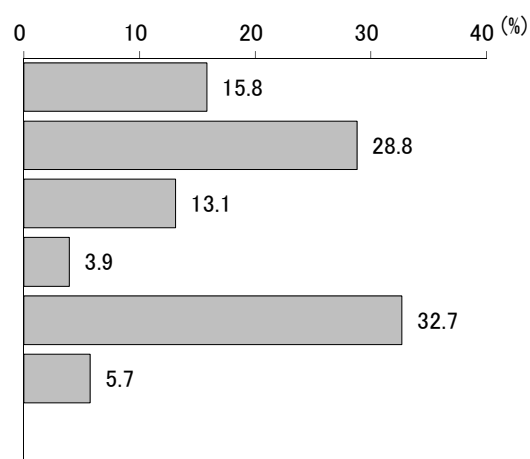
	基数	構成比
自営業主	84	6.0%
家族従業(家業手伝い)	14	1.0%
勤め(全日)	522	37.6%
勤め(パートタイム)	210	15.1%
内職	3	0.2%
主婦・主夫(家事専業)	260	18.7%
学生	29	2.1%
無職(年金生活者を含む)	205	14.8%
その他	24	1.7%
無回答	38	2.7%
全体	1,389	100.0%



(5) 平均的な勤務時間(残業含む)

<図表5 平均的な勤務時間>

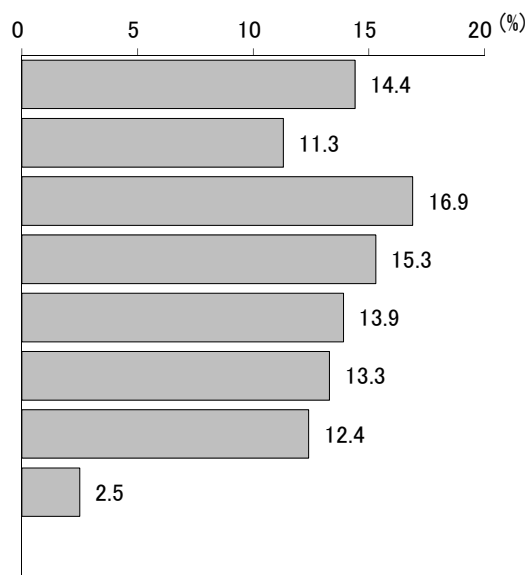
	基数	構成比
7時間未満	220	15.8%
7～9時間未満	400	28.8%
9～11時間未満	182	13.1%
11時間以上	54	3.9%
勤務していない	454	32.7%
無回答	79	5.7%
全体	1,389	100.0%



(6) 現在の居住地

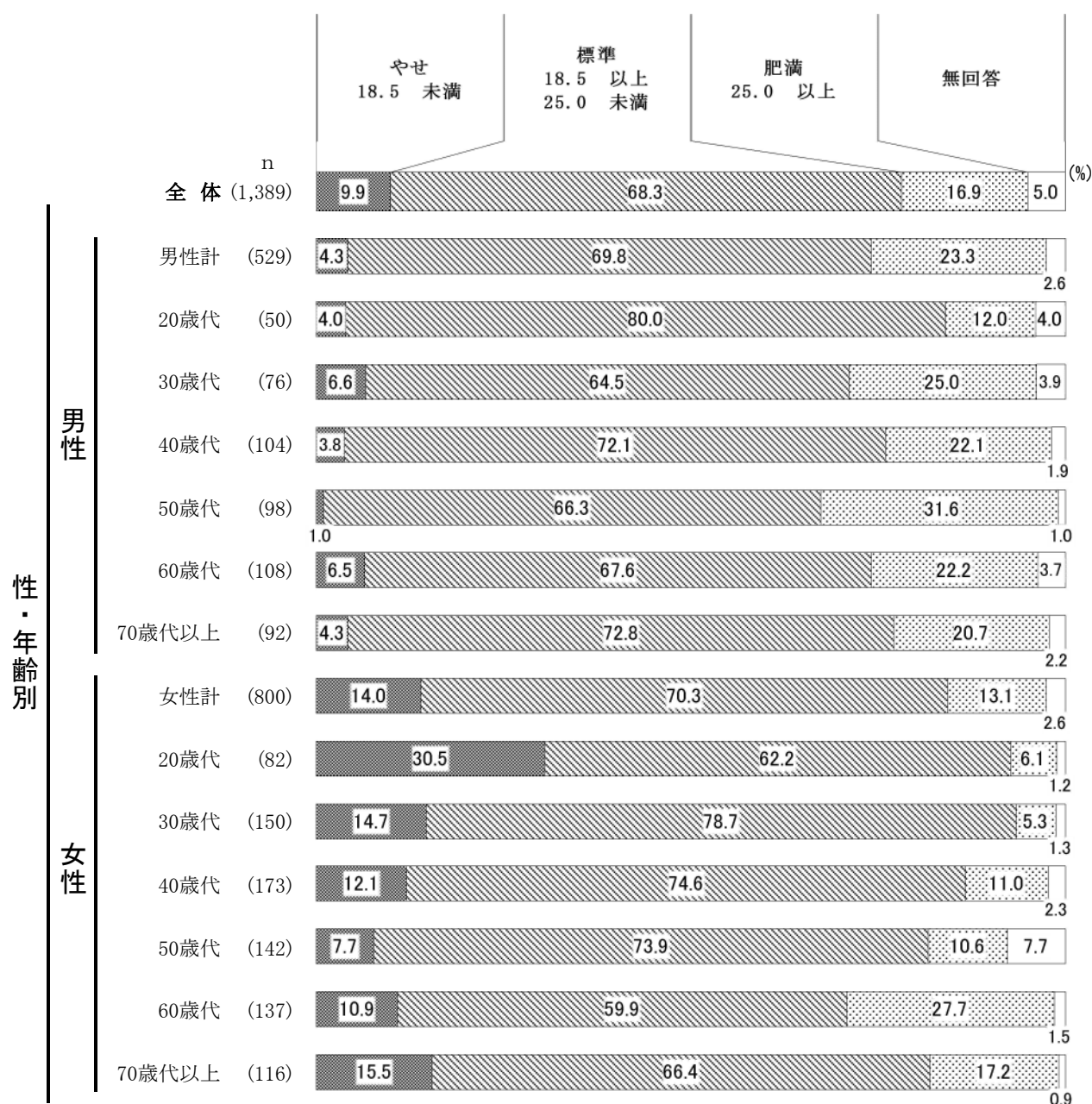
<図表6 現在の居住地>

	基数	構成比
川崎区	200	14.4%
幸区	157	11.3%
中原区	235	16.9%
高津区	212	15.3%
宮前区	193	13.9%
多摩区	185	13.3%
麻生区	172	12.4%
無回答	35	2.5%
全体	1,389	100.0%



(7) BMI (身長、体重から算出)

<図表7 BMI × 性・年齢>



※BMI (Body Mass Index=体格指数) とは

体格の判定について広く用いられている指標で、次の式で導くことができ、「22」が標準とされている。

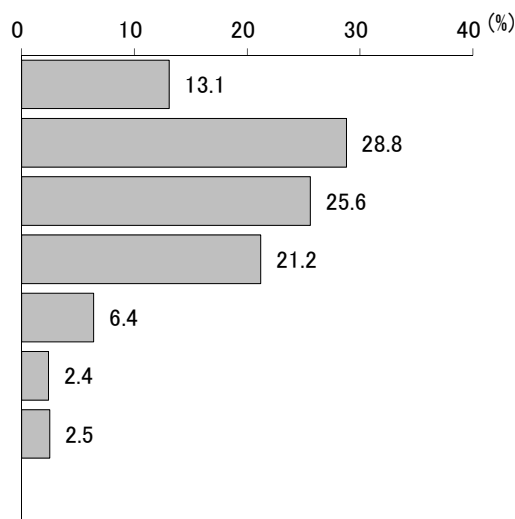
$$BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$$

また、日本肥満学会ではBMIの判定基準を、18.5未満を「やせ」、18.5以上25.0未満を「普通」、25.0以上を「肥満」と定めている。

(8) 同居している家族の人数（自身を含む）

<図表8 同居している家族の人数（自身を含む）>

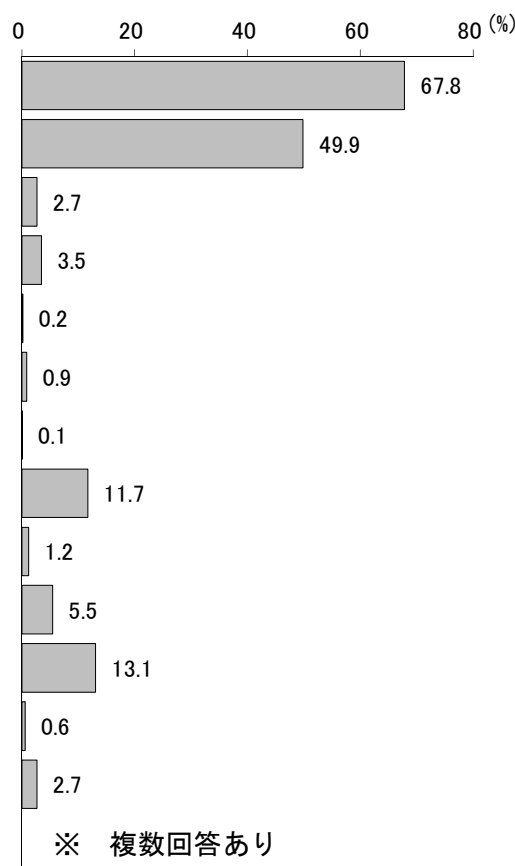
	基数	構成比
1人	182	13.1%
2人	400	28.8%
3人	356	25.6%
4人	294	21.2%
5人	89	6.4%
6人以上	33	2.4%
無回答	35	2.5%
全体	1,389	100.0%



(9) 同居している人

<図表9 同居している人>

	基数	構成比
配偶者	942	67.8%
子ども	693	49.9%
子どもの配偶者	38	2.7%
孫	48	3.5%
友人	3	0.2%
パートナー	12	0.9%
職場・仕事仲間	1	0.1%
父母	163	11.7%
祖父母	17	1.2%
兄弟姉妹	77	5.5%
いない	182	13.1%
その他	9	0.6%
無回答	37	2.7%
全体	1,389	100.0%



2. 普段の食生活について

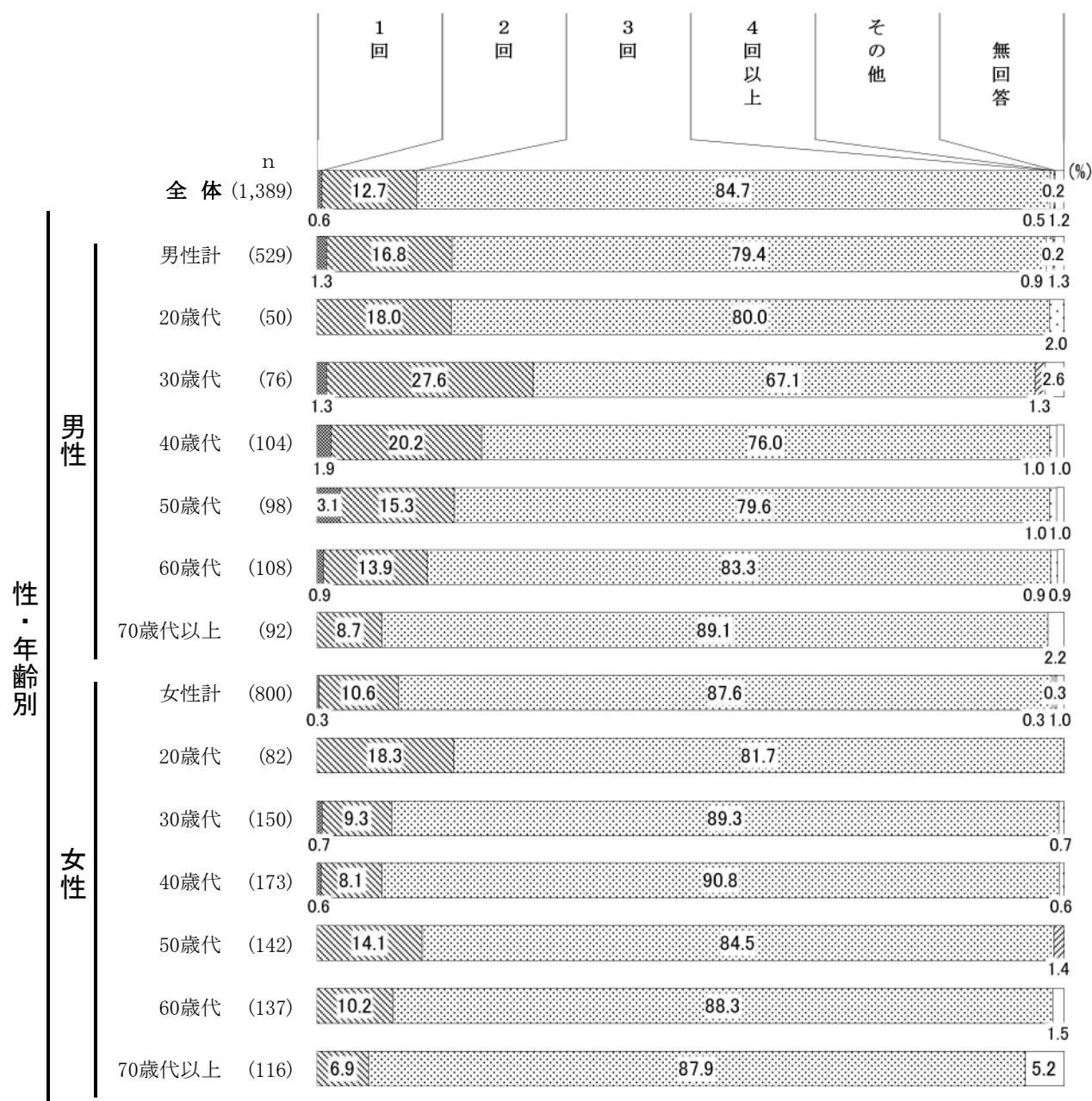
(1) 1日の食事回数

問1 1日に何回食事をしますか。(間食・夜食を除きます。)(○は1つ)

1日の食事回数について、「3回」が全体の84.7%で最も多く、次いで「2回」12.7%、「1回」0.6%、「4回以上」0.5%であった。

性・年齢別にみると、「3回」の割合は、男性は30歳代以降で年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。女性は50歳代で一旦割合が減少するが、50歳代以降では年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表10 1日の食事回数×性・年齢>



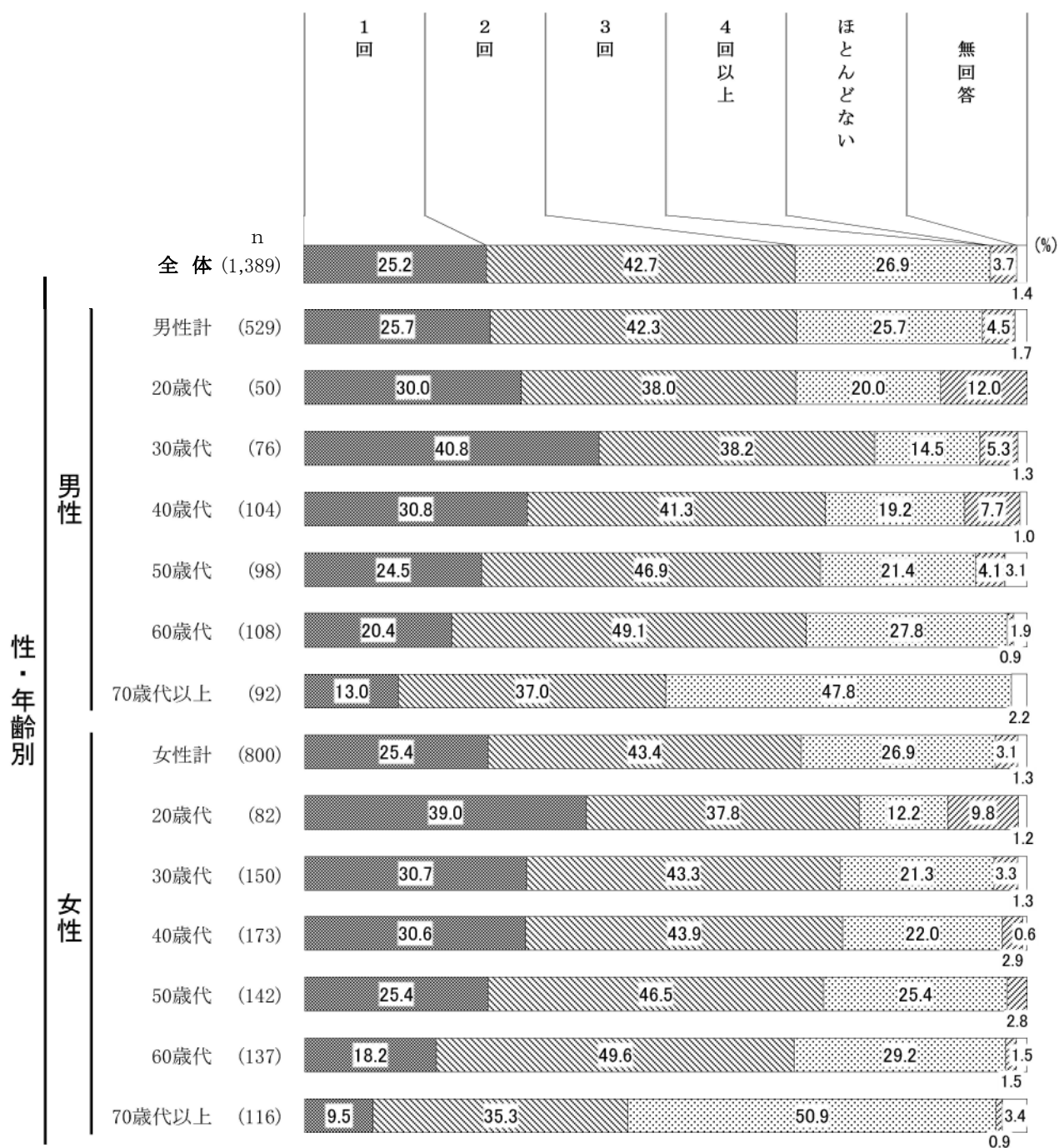
(2) 主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数

問2 主食（ごはん・パン・めんなど）、主菜（魚・肉・卵・大豆製品の料理）、副菜（野菜を主にした料理）をそろえて食べるのが1日のうちに何回ありますか。（○は1つ）

主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数について、「2回」が全体の42.7%で最も多く、次いで「3回」26.9%、「1回」25.2%であった。また「4回以上」と回答した人はいなかった。

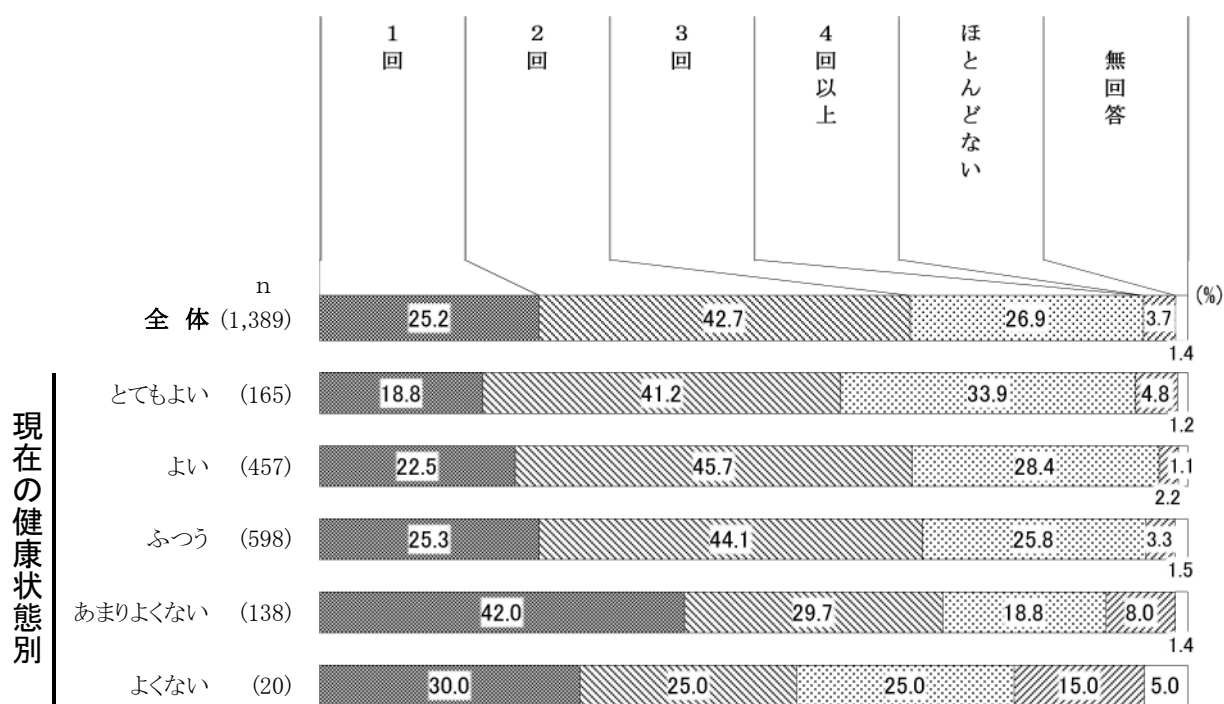
性・年齢別にみると、3つをそろえた食事の回数は、男女とも年齢があがるほど、増加する傾向にあり、特に70歳代以上では「3回」の割合が男性47.8%、女性50.9%となっている。

<図表11 主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数×性・年齢>



現在の健康状態別にみると、健康状態がよいほど、主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数も多い傾向がみられる。

<図表12 主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数×現在の健康状態>



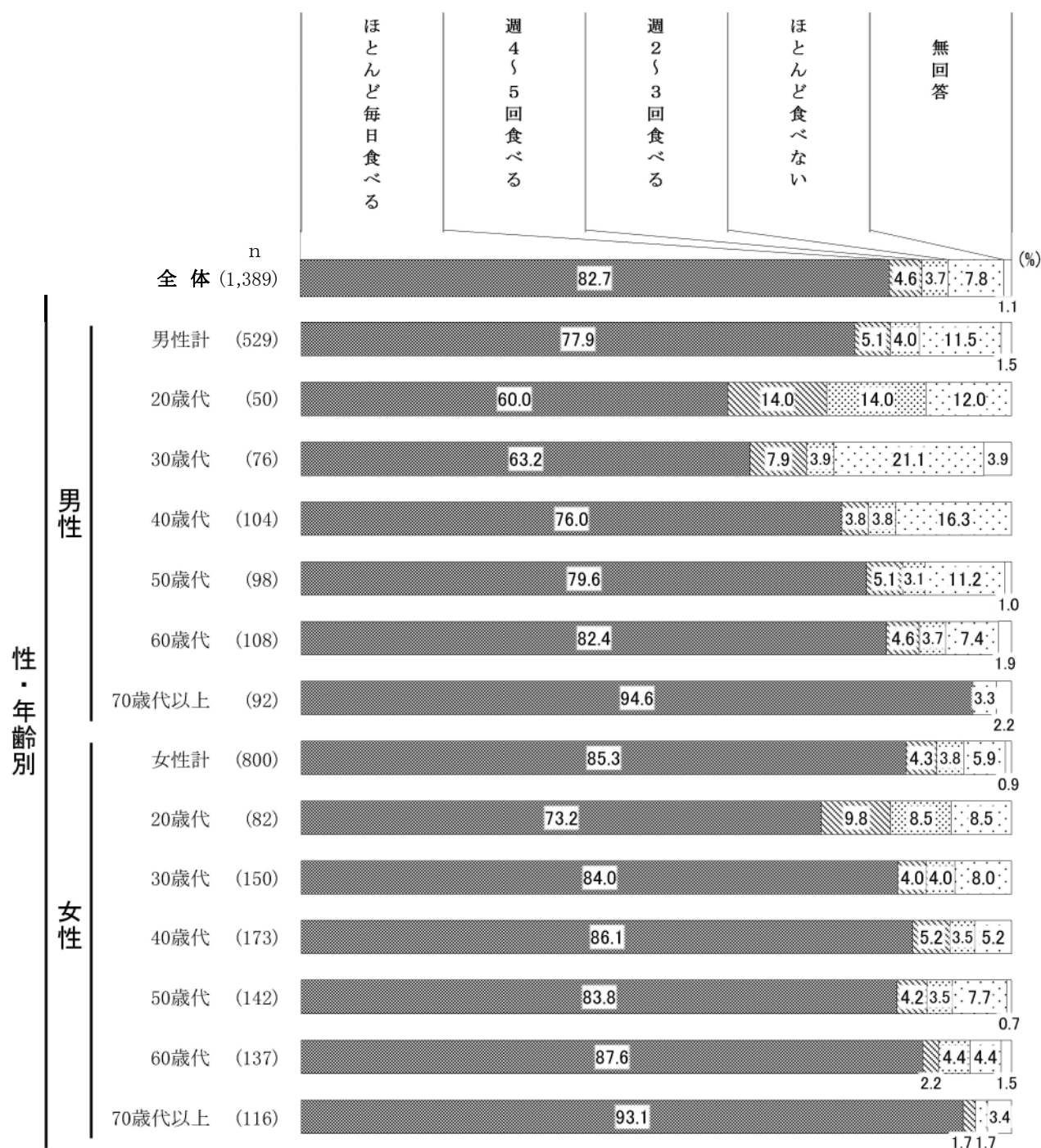
(3) 朝食の有無

問3 朝食は食べますか。(○は1つ)

朝食について、「ほとんど毎日食べる」が全体の82.7%で最も多く、次いで「週4～5回食べる」4.6%、「週2～3回食べる」3.7%であった。

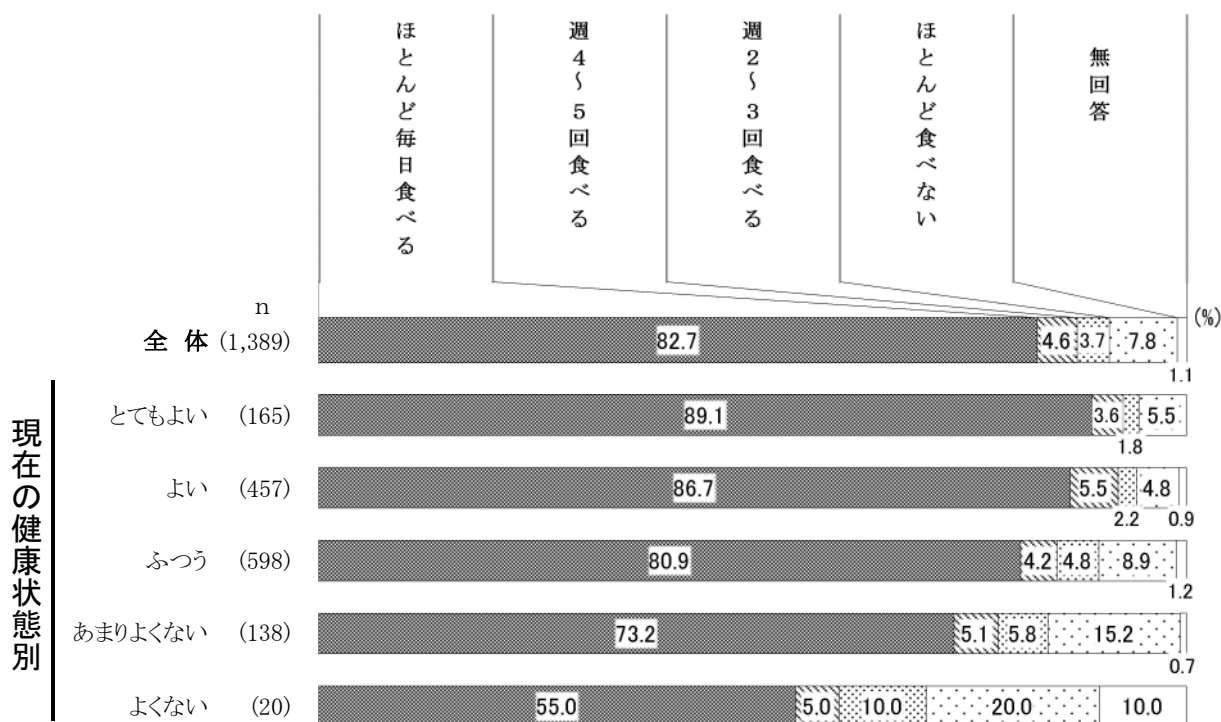
年齢別にみると、「ほとんど毎日食べる」の割合は、男女とも70歳以上で最も多く、年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表13 朝食の有無×性・年齢>



現在の健康状態別にみると、「ほとんど毎日食べる」の割合は、健康状態がよいほど、その割合も増加する傾向がみられる。

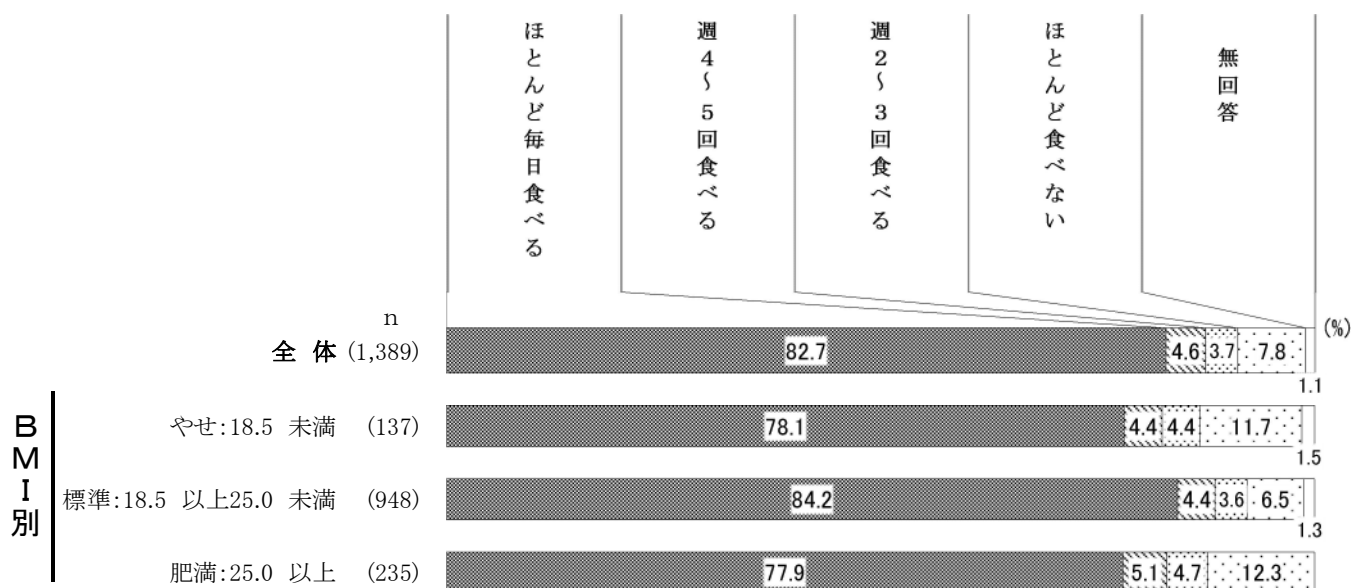
<図表14 朝食の有無×現在の健康状態>



第2章 調査結果の詳細

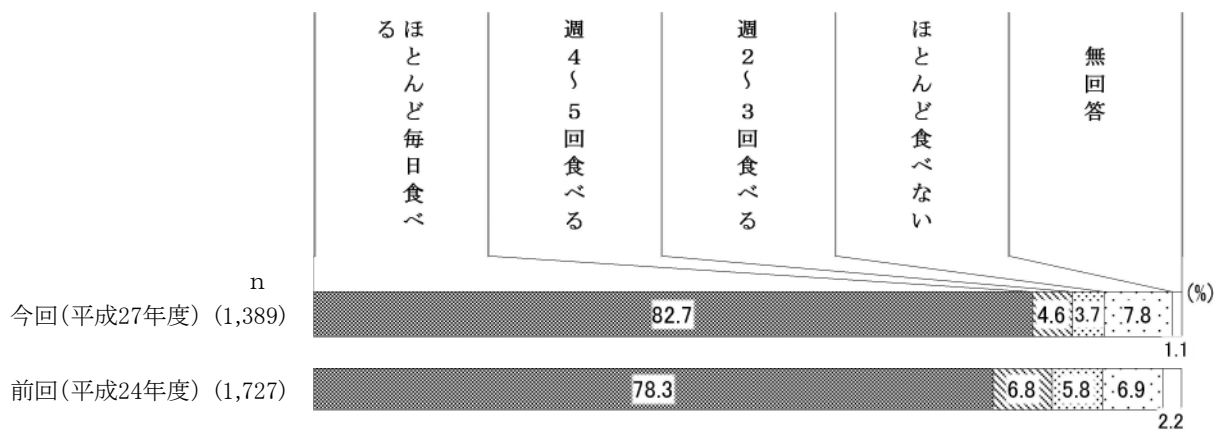
BMI別にみると、「ほとんど毎日食べる」の割合は、標準の方が84.2%で最も多くなっている。

<図表15 朝食の有無×BMI>



前回調査（平成24年度）と比較すると、前回に比べて「ほとんど毎日食べる」の割合が、4.4ポイント増加している。

<図表16 朝食の有無 前回調査との比較（参考）>



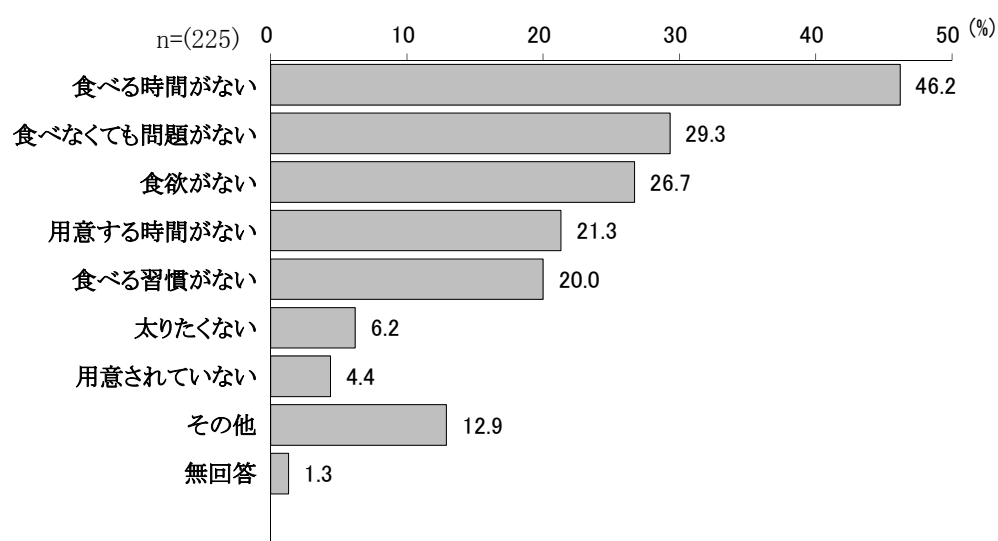
(4) 朝食を食べていない理由

(問3で「週4～5回食べる」「週2～3回食べる」「食べない」とお答えの方にお聞きします。)

問3-1 朝食を食べていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

朝食を「週4～5回食べる」「週2～3回食べる」「食べない」と答えた人に、「朝食を食べていない理由」について聞いたところ、「食べる時間がない」が全体の46.2%で最も多く、次いで「食べなくても問題がない」29.3%であった。

<図表17 朝食を食べていない理由>



(5) 1日に食べる野菜料理の量

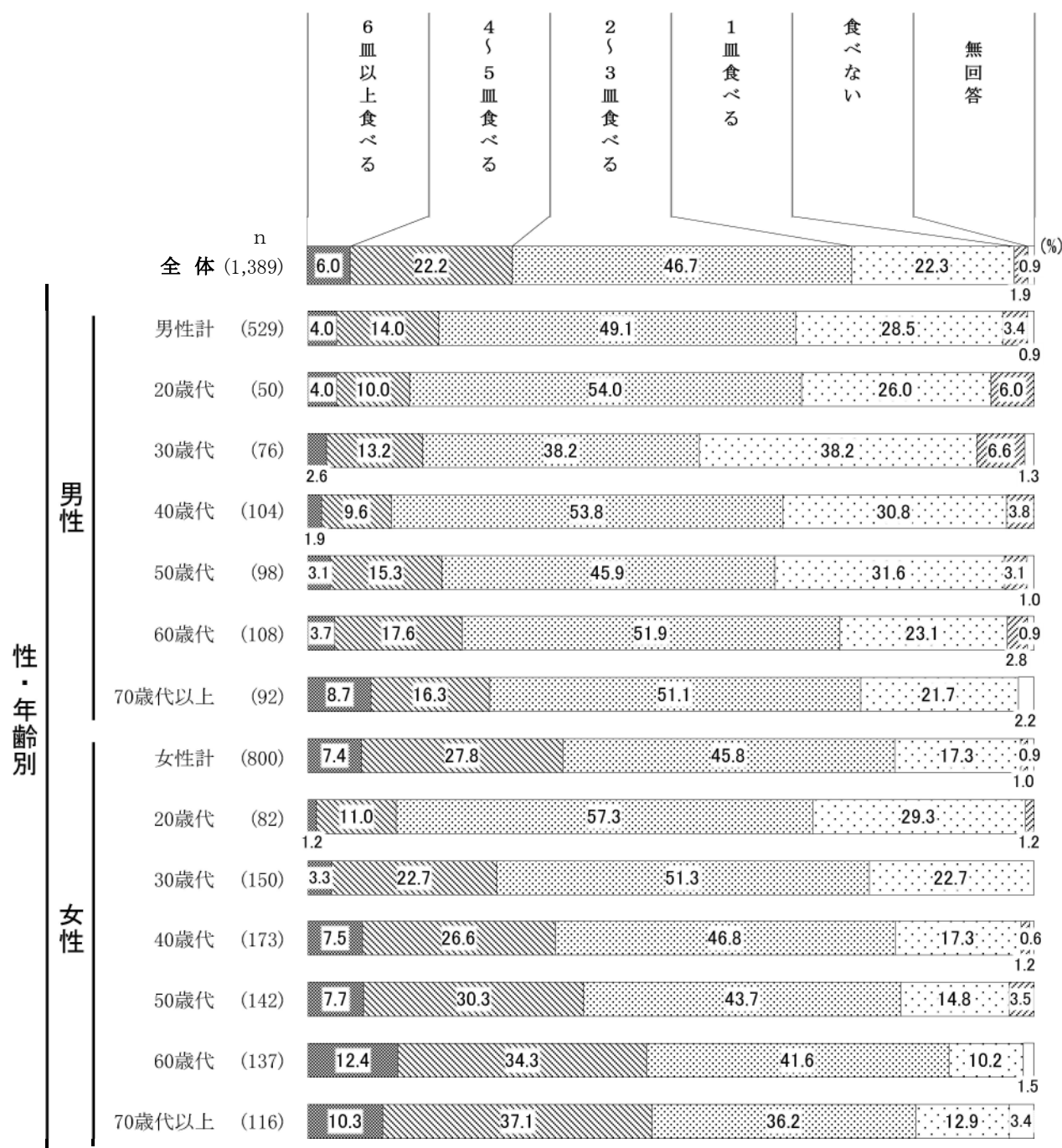
問4 野菜料理を1日にどのくらい食べていますか。

野菜料理約70g（トマトなら半分、かぼちゃなら3切れ程度）を1皿として、例を参考に、お皿の数でお答えください。（〇は1つ）

1日に食べる野菜料理の量について、「2～3皿食べる」が全体の46.7%で最も多く、次いで「1皿食べる」22.3%、「4～5皿食べる」22.2%、「6皿以上食べる」6.0%、「食べない」1.9%であった。

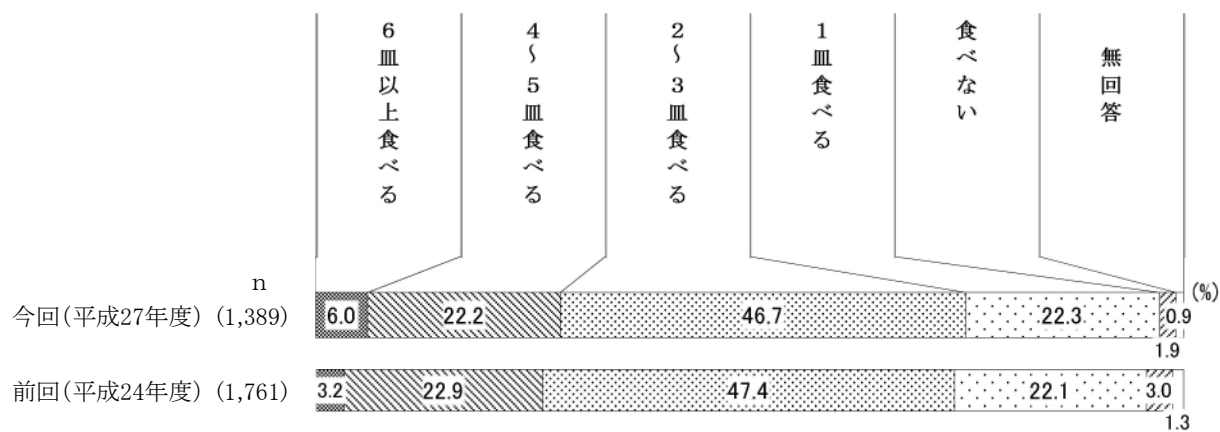
性・年齢別にみると、「6皿以上食べる」「4～5皿食べる」の割合は、男性の40歳代以上と女性の60歳代以下で年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表18 1日に食べる野菜料理の量×性・年齢>



前回調査（平成24年度）と比較すると、前回調査との差はほとんどみられない。

<図表19 1日に食べる野菜料理の量 前回調査との比較（参考）>



(6) 外食の回数

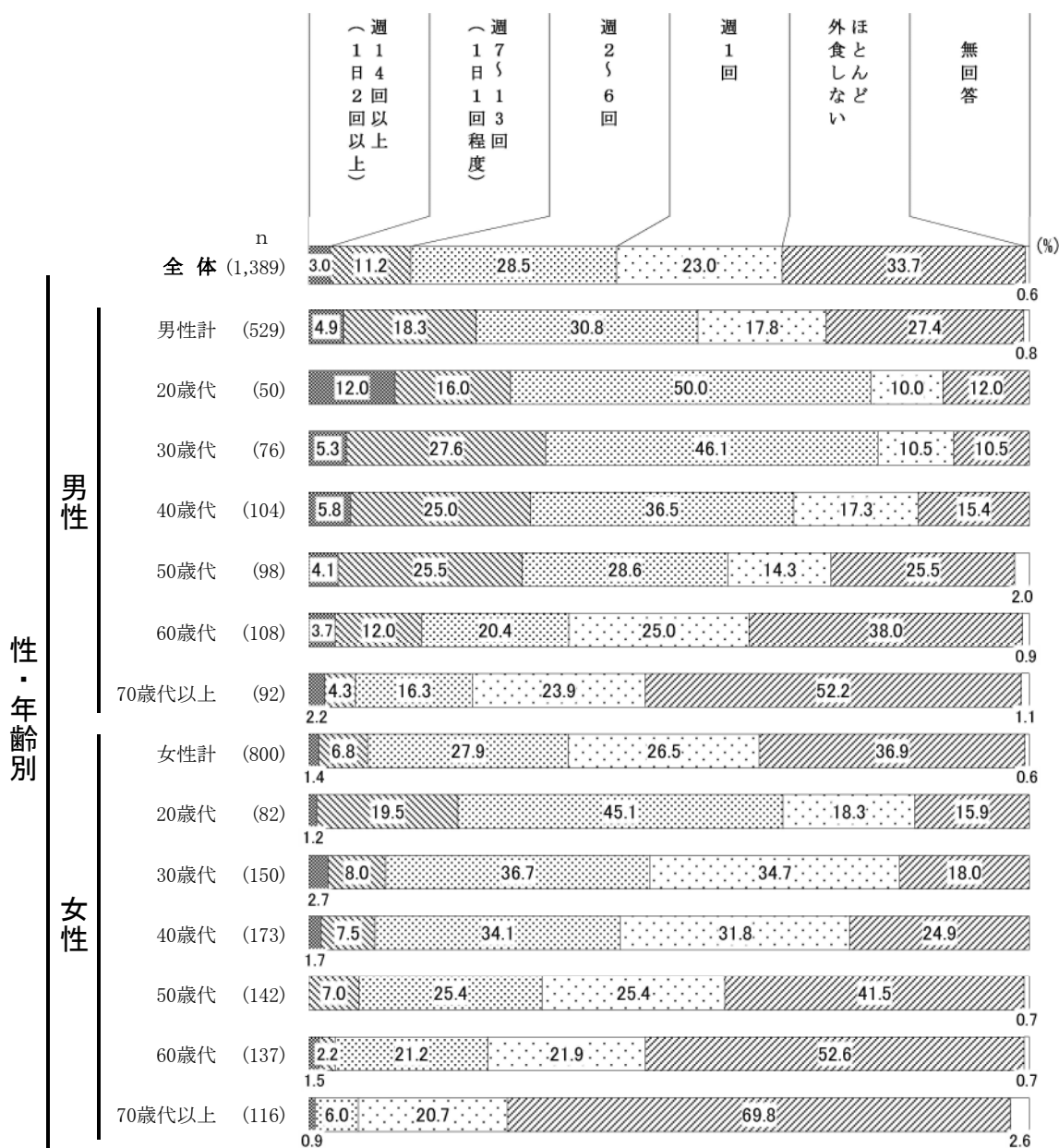
問5 外食を週に何回しますか。(〇は1つ)

外食の回数について、「ほとんど外食しない」が全体の33.7%で最も多く、次いで「週2～6回」28.5%、「週1回」23.0%、「週7～13回(1日1回程度)」11.2%、「週14回以上(1日2回以上)」3.0%であった。

年齢別にみると、男女とも「ほとんど外食しない」の割合は、年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

※ この調査において、外食とは、飲食店で食事する場合、職場や外出先等の家庭以外の場所で出前をとったり市販のお弁当を買って食べる場合とし、家庭で作ったお弁当を職場で食べる場合は除いている。

<図表20 外食の回数×性・年齢>



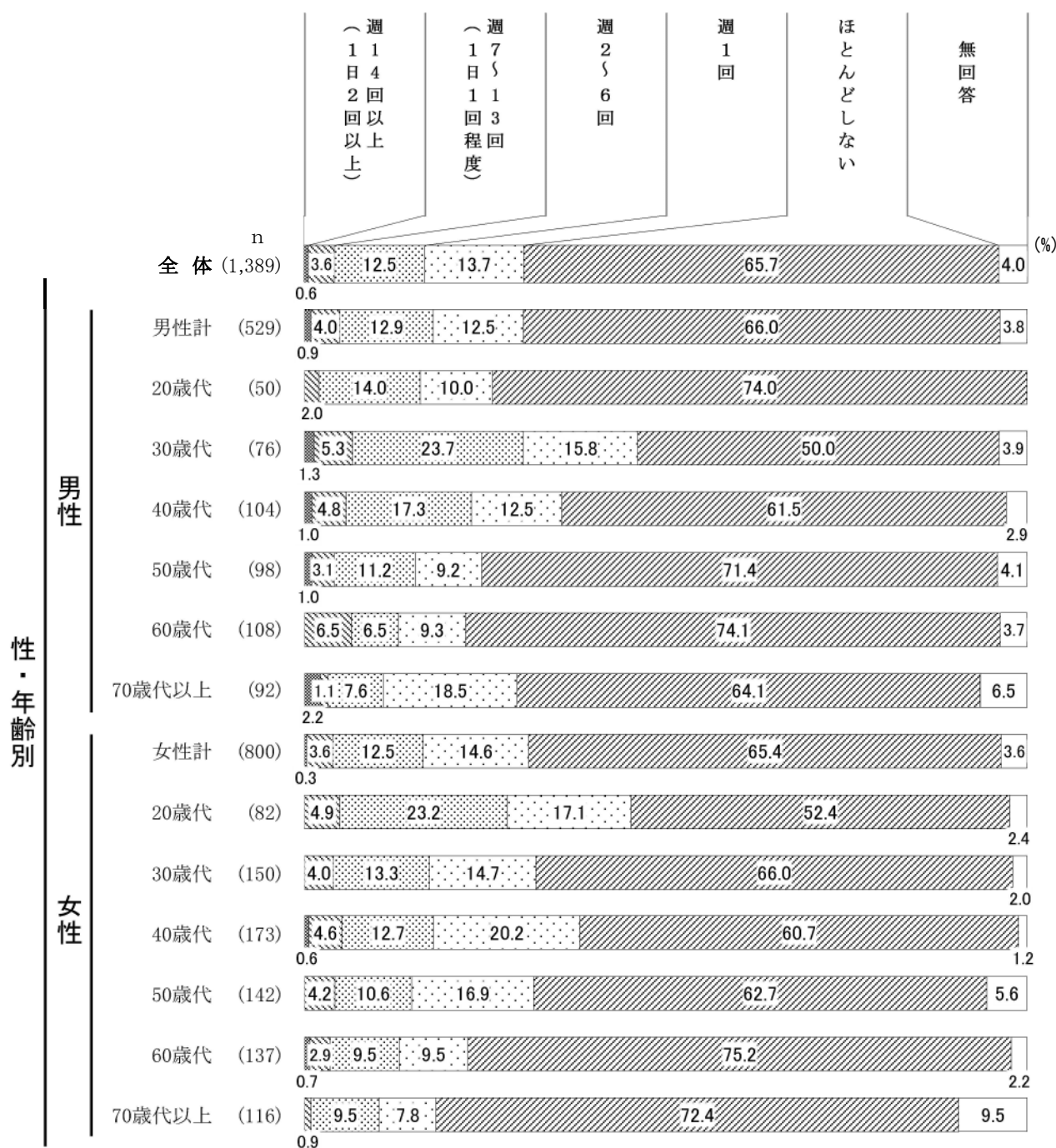
(7) 食事を菓子やサプリメントで済ませる回数

問6 食事を菓子やサプリメントで済ませることがありますか。(○は1つ)

食事を菓子やサプリメントで済ませることについて、「ほとんどしない」が全体の65.7%で最も多く、次いで「週1回」13.7%、「週2～6回」12.5%、「週7～13回（1日1回程度）」3.6%であった。

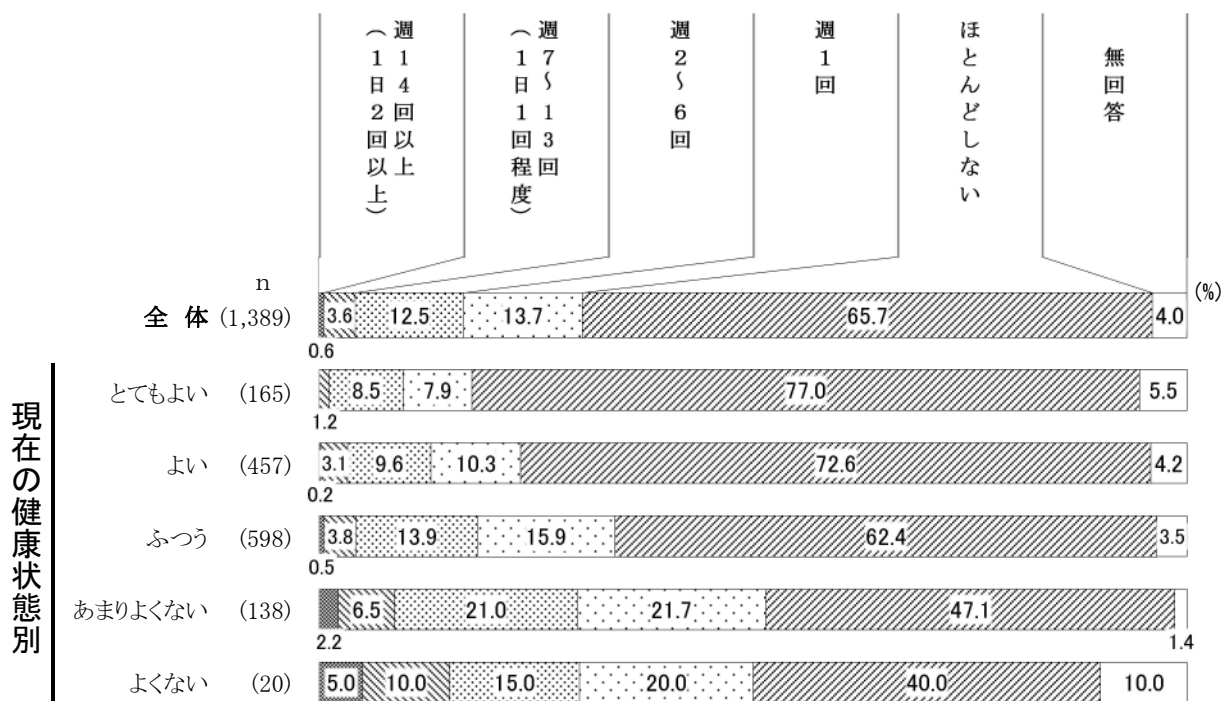
性・年齢別にみると、男女とも「ほとんどしない」の割合は、男性30歳代50.0%、女性20歳代52.4%でそれぞれ最も少なく、食事を菓子やサプリメントで済ませる割合が多くなっている。

<図表21 食事を菓子やサプリメントで済ませる回数×性・年齢>



現在の健康状態別にみると、「ほとんどしない」は健康状態がよいほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表22 食事を菓子やサプリメントで済ませる回数×現在の健康状態>



3. 食卓での団らんについて

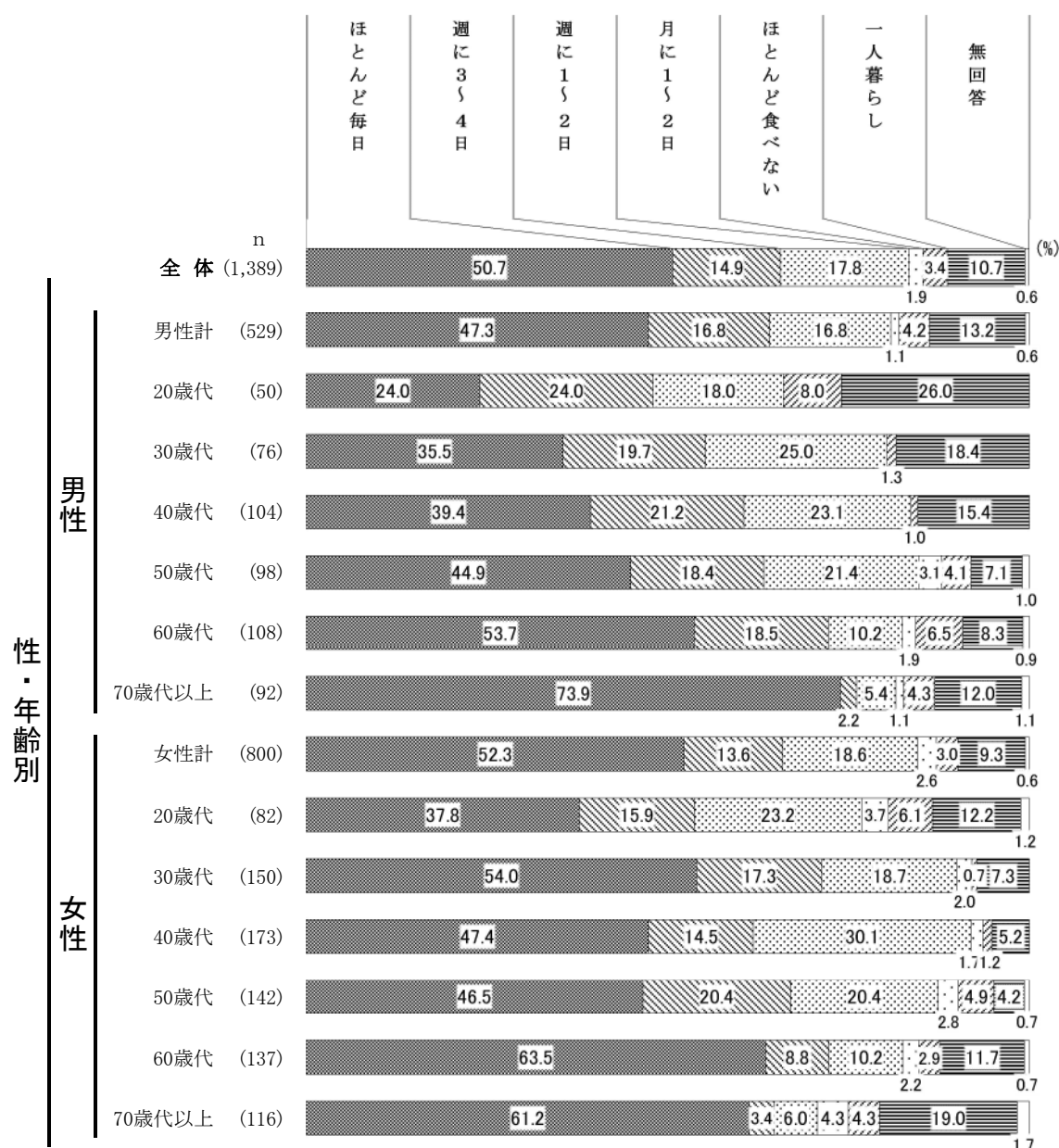
(1) 家族そろって食事をする頻度

問7 家族（同居人を含む）そろって食事をするのはどのくらいですか。（〇は1つ）

家族そろって食事をする頻度について、「ほとんど毎日」が全体の50.7%で最も多く、次いで「週に1～2日」17.8%、「週に3～4日」14.9%であった。

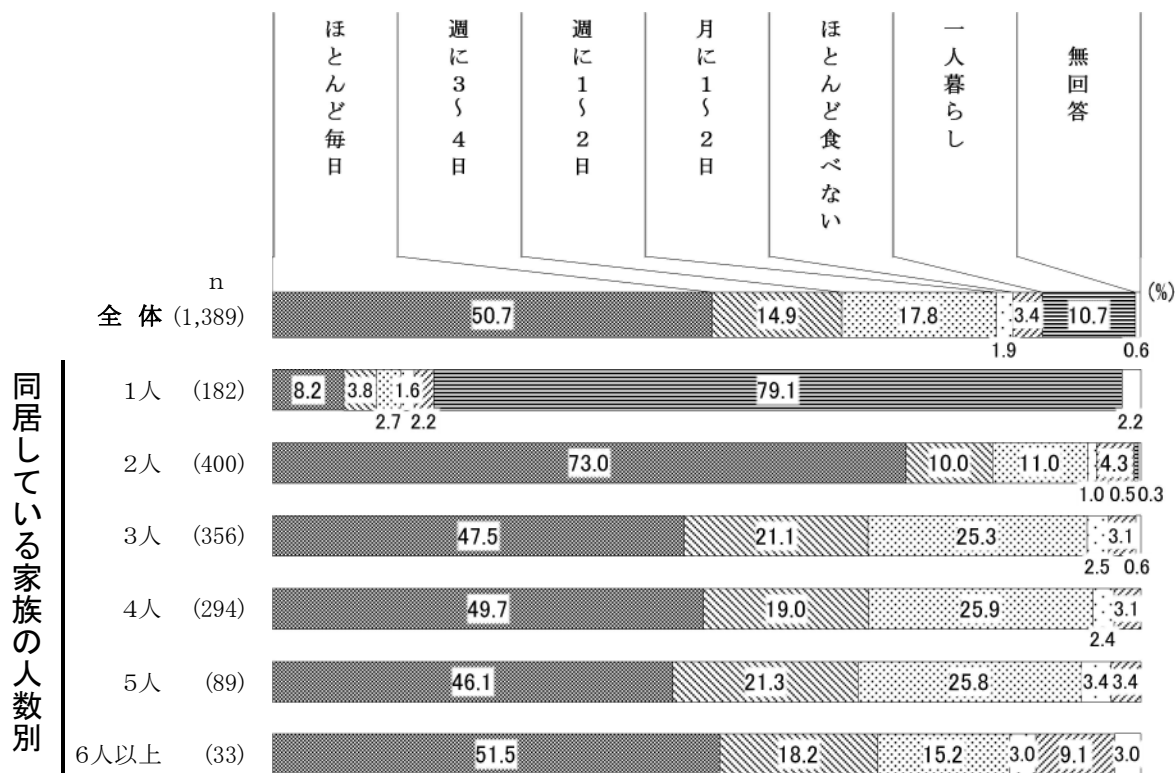
性・年齢別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男性は年齢が上がるほどその割合も増加する傾向がみられる。一方、女性は「60歳代」が63.5%で最も多く、次いで「70歳代以上」61.2%、「30歳代」54.0%であった。

<図表23 家族そろって食事をする頻度×性・年齢>



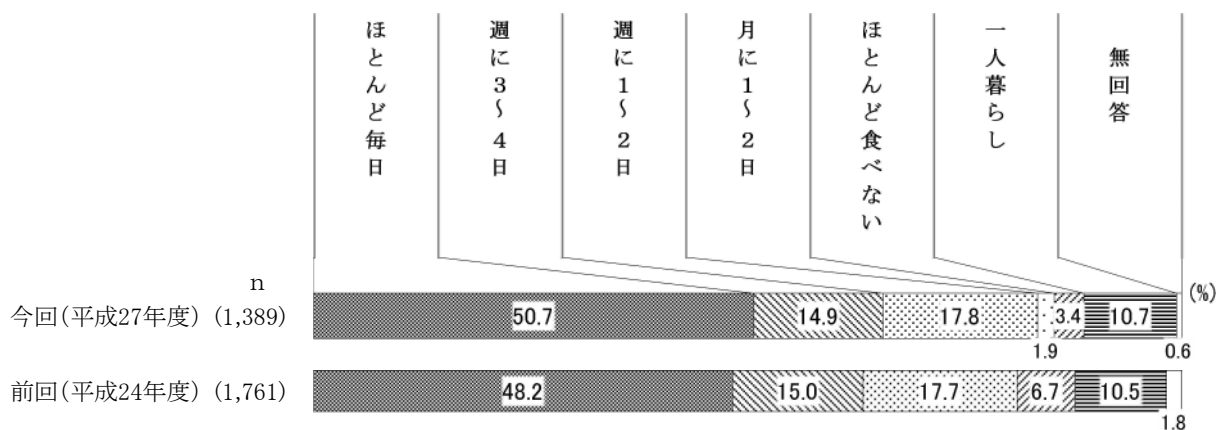
同居している家族の人数別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、2人が73.0%で最も多くなっている。

<図表24 家族そろって食事をする頻度×同居している家族の人数>



前回調査（平成24年度）と比較すると、前回調査との差はほとんどみられない。

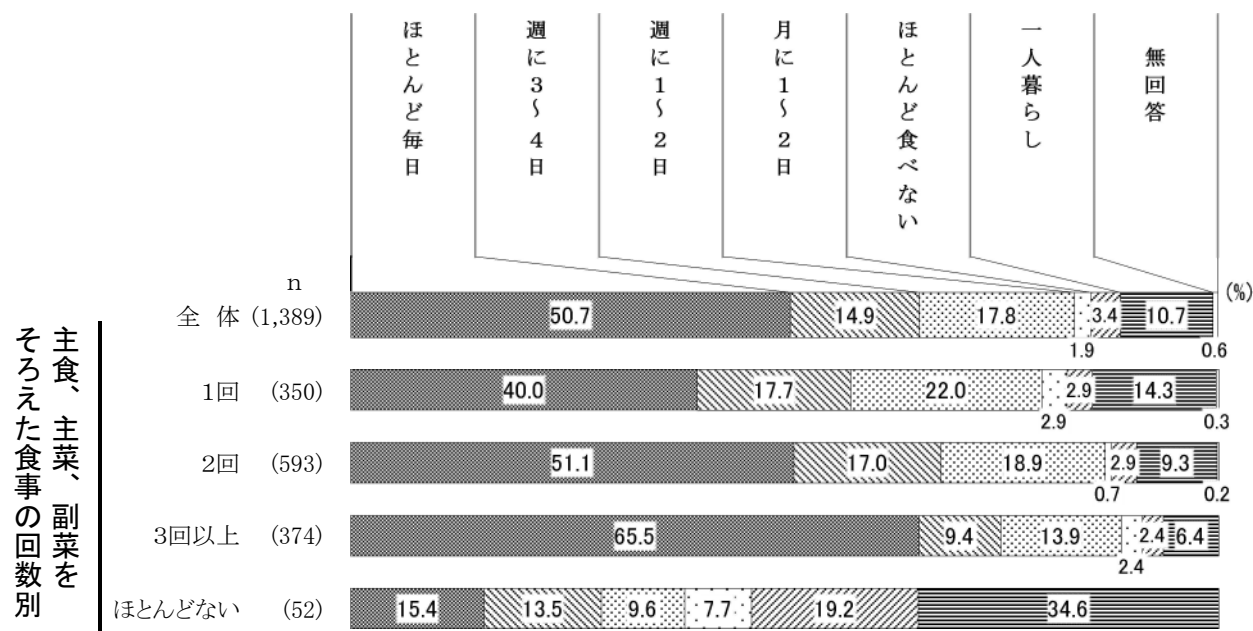
<図表25 家族そろって食事をする頻度 前回調査との比較（参考）>



※「月に1〜2回」は平成27年度からの選択肢

主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数が増えるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表26 家族そろって食事をする頻度×主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数>

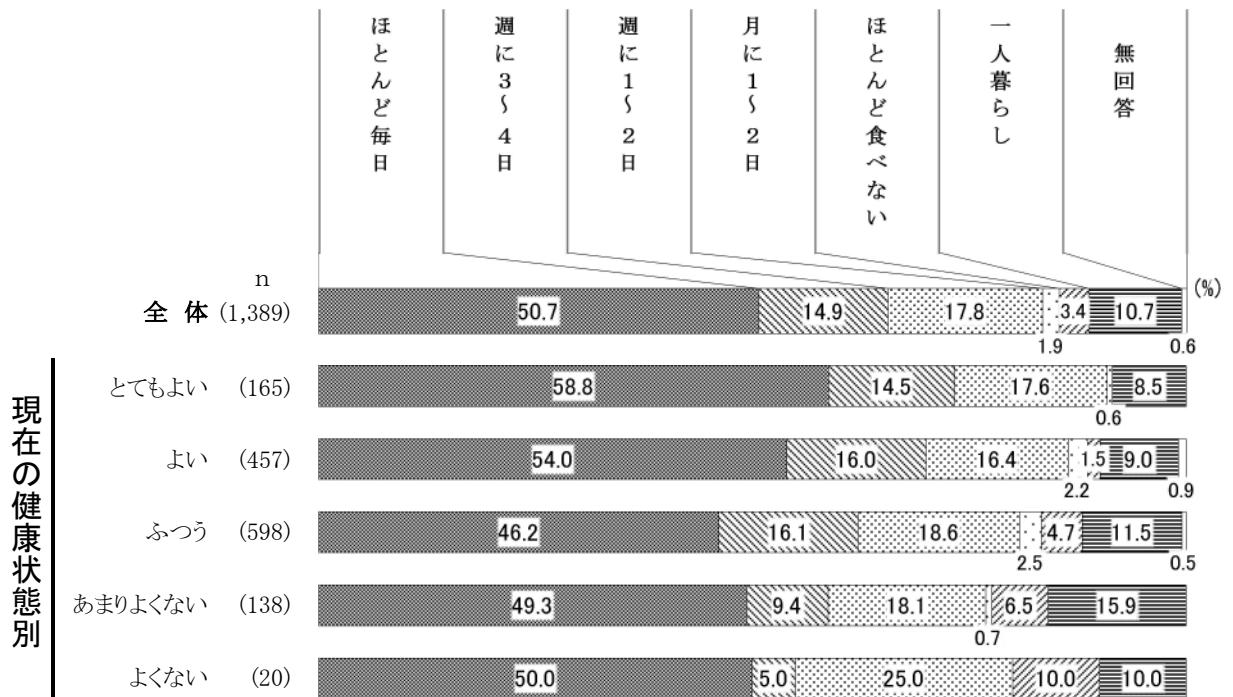


※ 4回以上と回答した人はいなかったため、3回と4回以上を合わせて「3回以上」として集計

第2章 調査結果の詳細

現在の健康状態別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、健康状態がよいほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表27 家族そろって食事をする頻度×現在の健康状態>



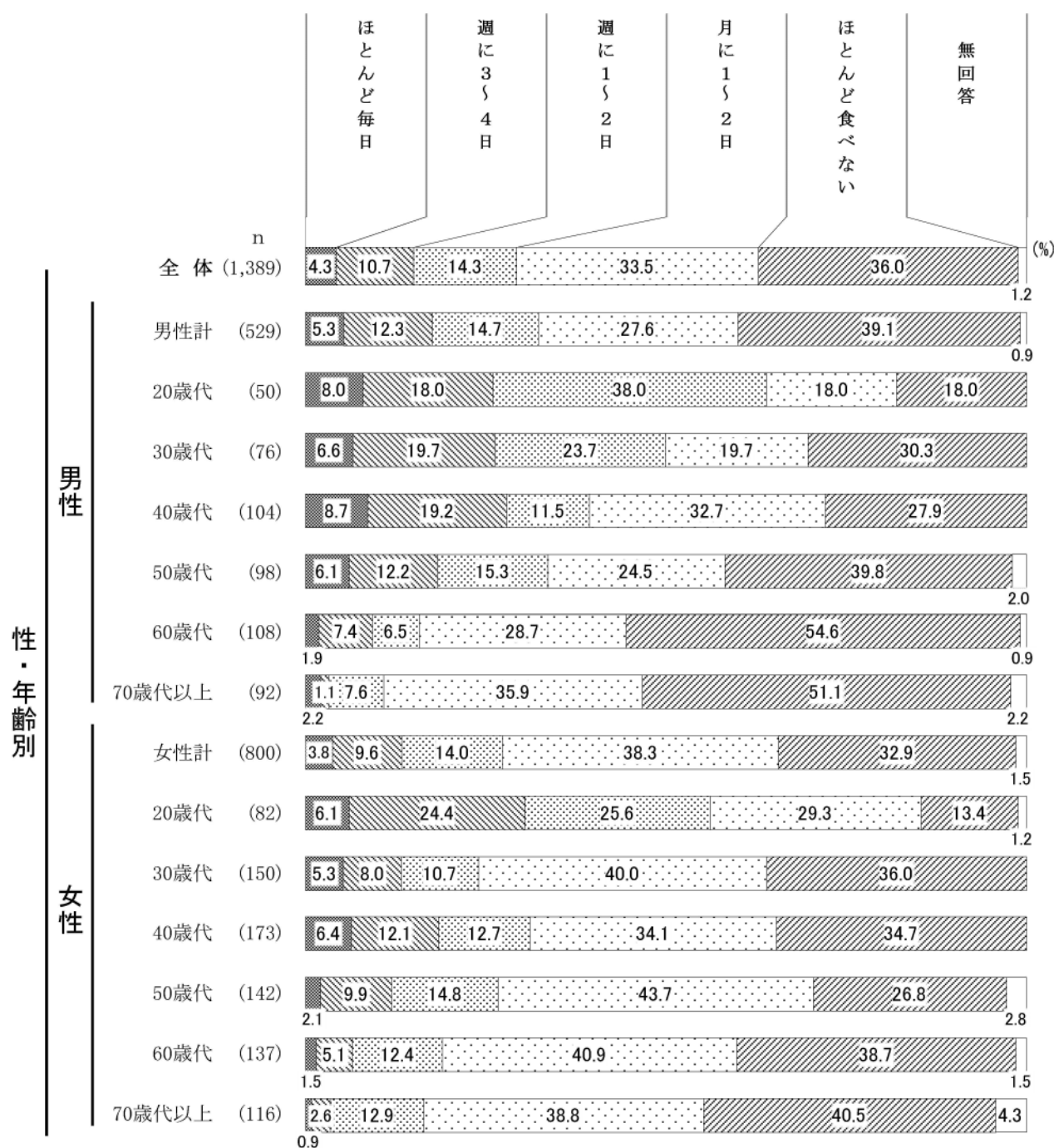
(2) 家族以外と食事をする頻度

問8 家族以外（友人・同僚・地域の人等）と食事をするのはどのくらいですか。（〇は1つ）

家族以外と食事をする頻度について、「ほとんど食べない」が全体の36.0%で最も多く、次いで「月に1～2日」33.5%、「週に1～2日」14.3%であった。

性・年齢別にみると、「ほとんど食べない」の割合は、男は年齢があがるほどその割合も増加する傾向がみられる。一方、女性は30歳代から50歳代までは年齢があがるほどその割合も減少する傾向がみられるが、その後は年齢があがるほど割合が増加する傾向がみられる。

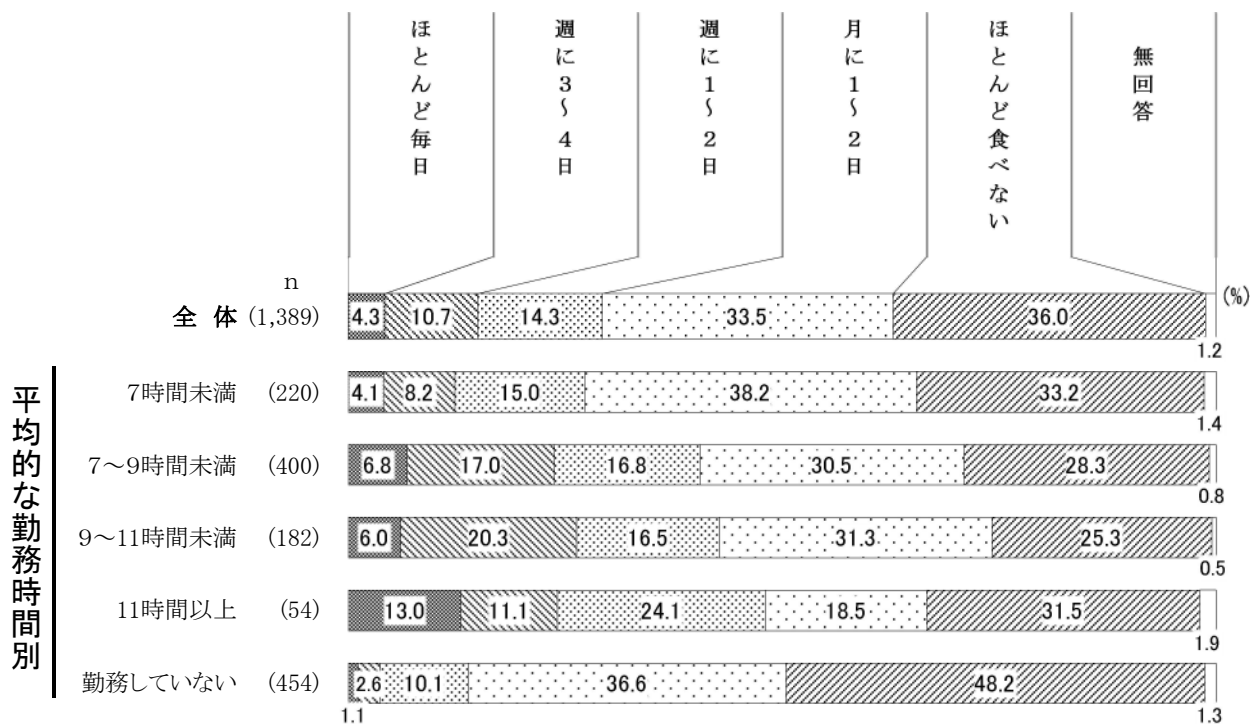
<図表28 家族以外と食事をする頻度×性・年齢>



第2章 調査結果の詳細

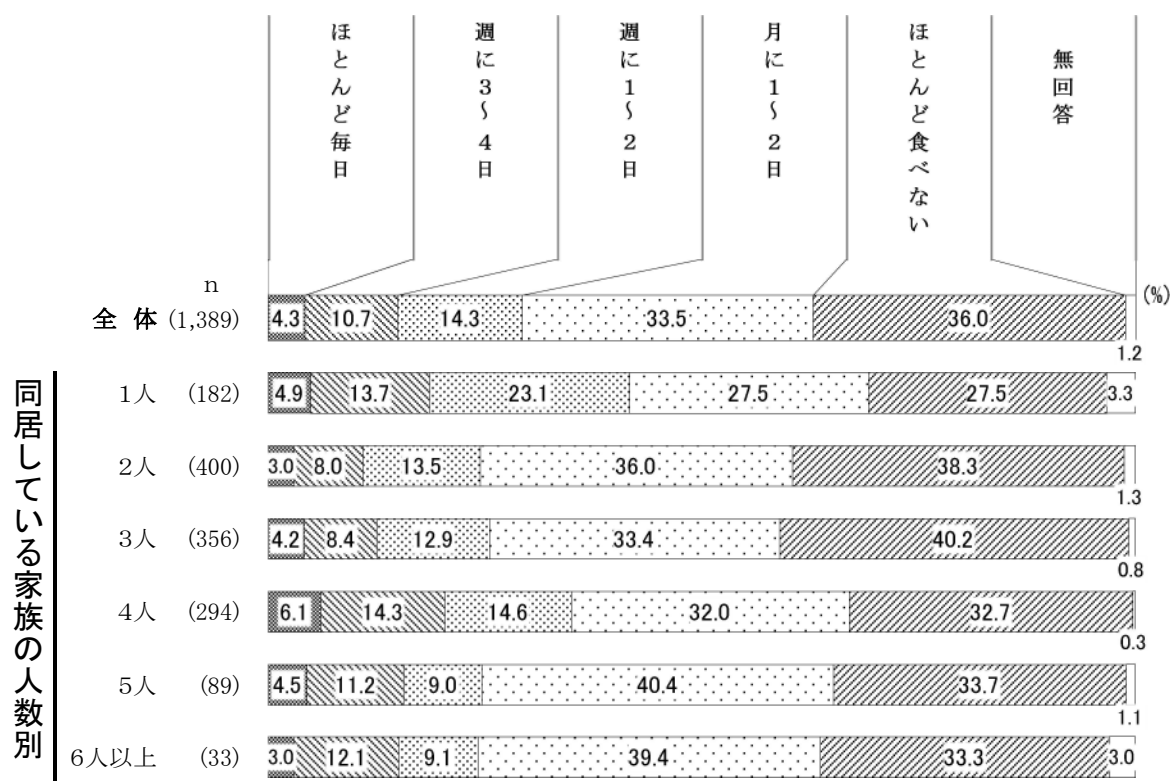
平均的な勤務時間別にみると、平均的な勤務時間が11時間未満では「月に1～2回」が最も多く、11時間以上では「ほとんど食べない」が最も多くなっている。

<図表29 家族以外と食事をする頻度×平均的な勤務時間>



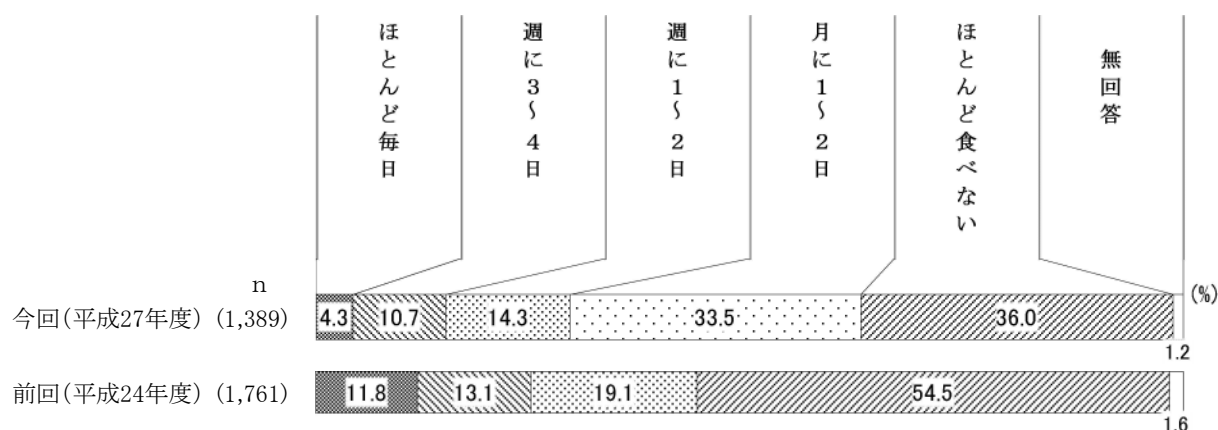
同居している家族の人数別にみると、「ほとんど食べない」の割合は、家族の人数が3人までは、家族の人数が増えるほど、その割合も増加する傾向がみられる。家族の人数が4人を超えると、「ほとんど食べない」の割合はほとんど変わらなくなっている。

<図表30 家族以外と食事をする頻度×同居している家族の人数>



前回調査（平成24年度）と比較すると、前回に比べて「ほとんど食べない」の割合は減少しているが、今回追加された選択肢の「月に1〜2回」の割合と合わせると、ほとんど食事をしていないと回答している割合は大きく増加している。

<図表31 家族以外と食事をする頻度 前回調査との比較（参考）>

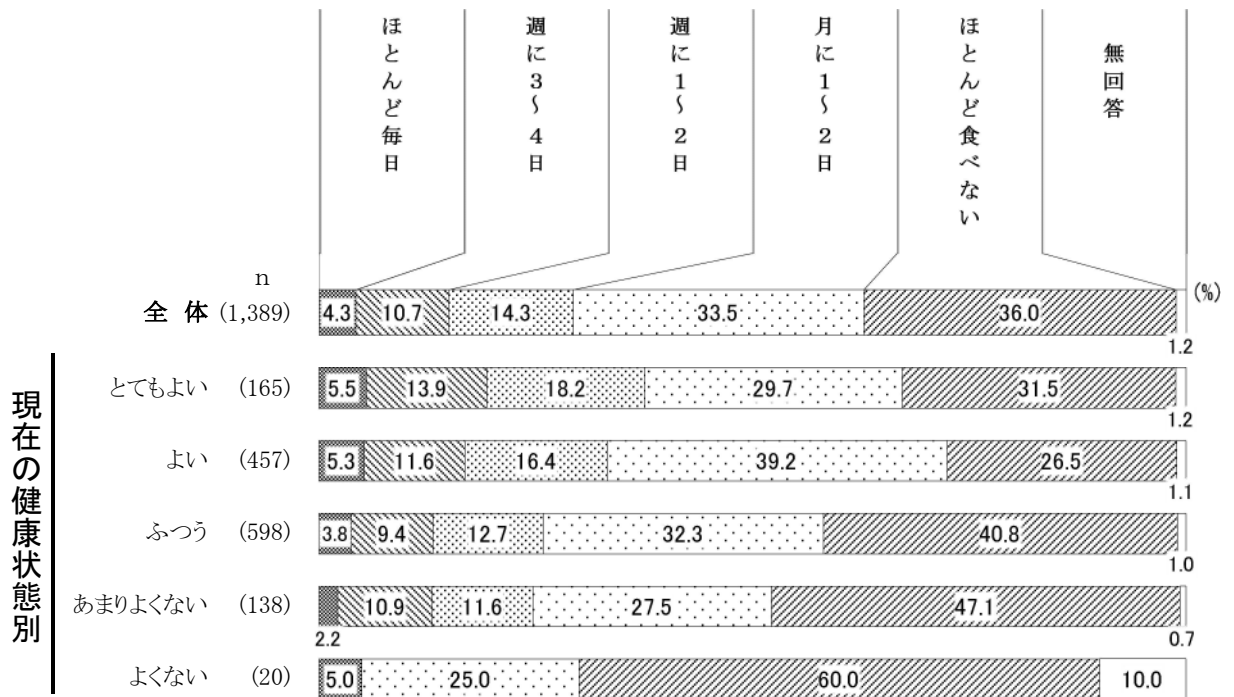


※「月に1〜2回」は平成27年度からの選択肢

第2章 調査結果の詳細

現在の健康状態別にみると、「ほとんど食べない」の割合は、健康状態がよいほど、その割合も減少する傾向がみられる。

<図表32 家族以外と食事をする頻度×現在の健康状態>



(3) 家族や友人・知人と食事をする頻度

問9 家族や友人・知人等と一緒に食事をしますか。(各項目に○は1つ)

家族や友人・知人と食事をする頻度について、食事の時間ごとにみると、朝食は、「ほとんど毎日」が全体の38.6%で最も多く、次いで「ほとんど食べない」34.0%であった。

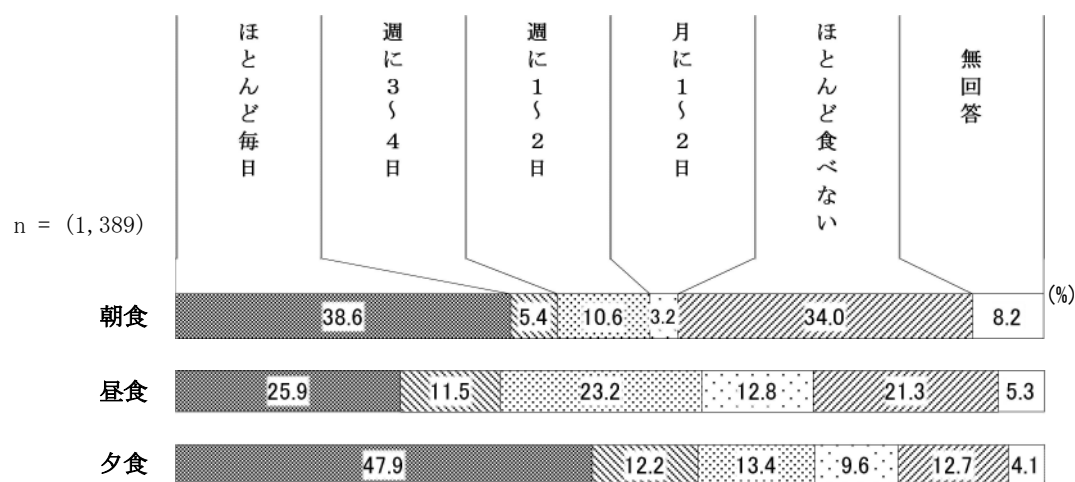
昼食は、「ほとんど毎日」が全体の25.9%で最も多く、次いで「週に1～2日」23.2%であった。

夕食は、「ほとんど毎日」が全体の47.9%で最も多く、次いで「週に1～2日」13.4%であった。

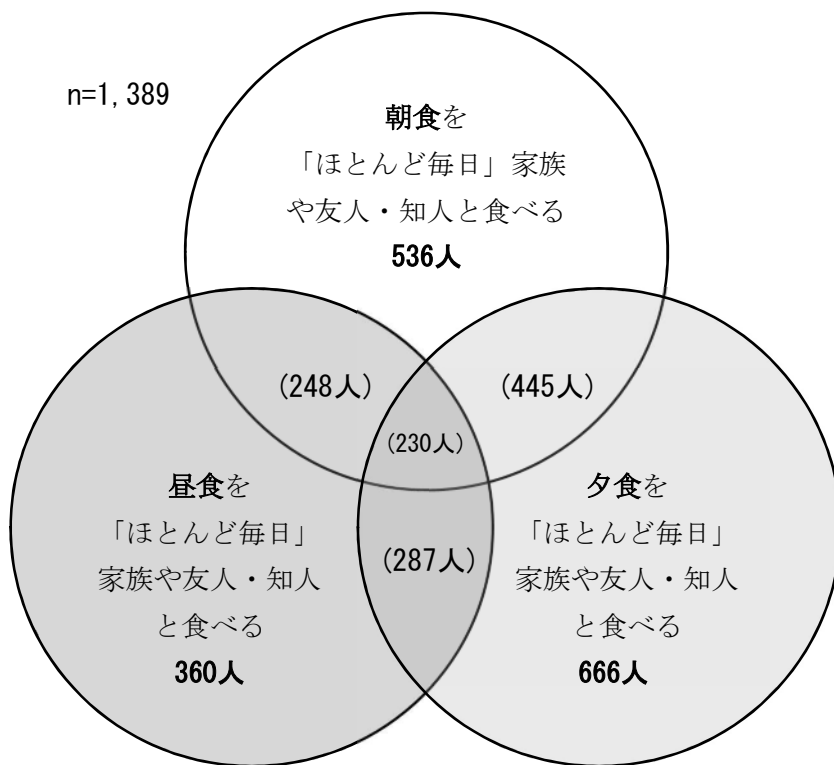
1日のどこか1食でも「ほとんど毎日」と回答した人は、58.5%であった。

朝食と夕食のどちらかを「ほとんど毎日」と回答した人は、54.5%であった。

<図表33 家族や友人・知人と食事をする頻度>

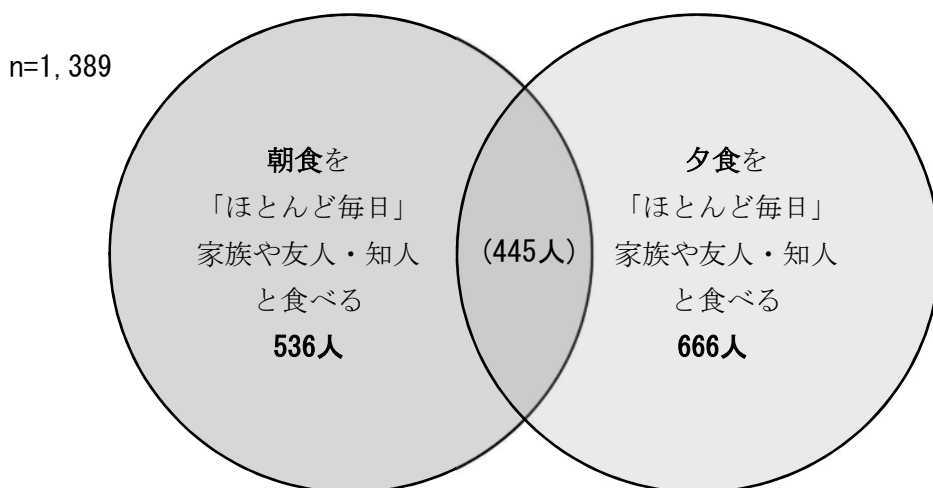


<参考 1日のどこか1食でも「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする頻度>



1日のどこか1食でも「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする割合=
 $(536+360+666 - (248+287+445-230)) \div 1,389 = 58.5 (\%)$

<参考 朝食と夕食のどちらかを「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする頻度>



朝食と夕食のどちらかを「ほとんど毎日」家族や友人・知人と食事をする割合=
 $(536+666-445) \div 1,389 = 54.5 (\%)$

4. 食育について

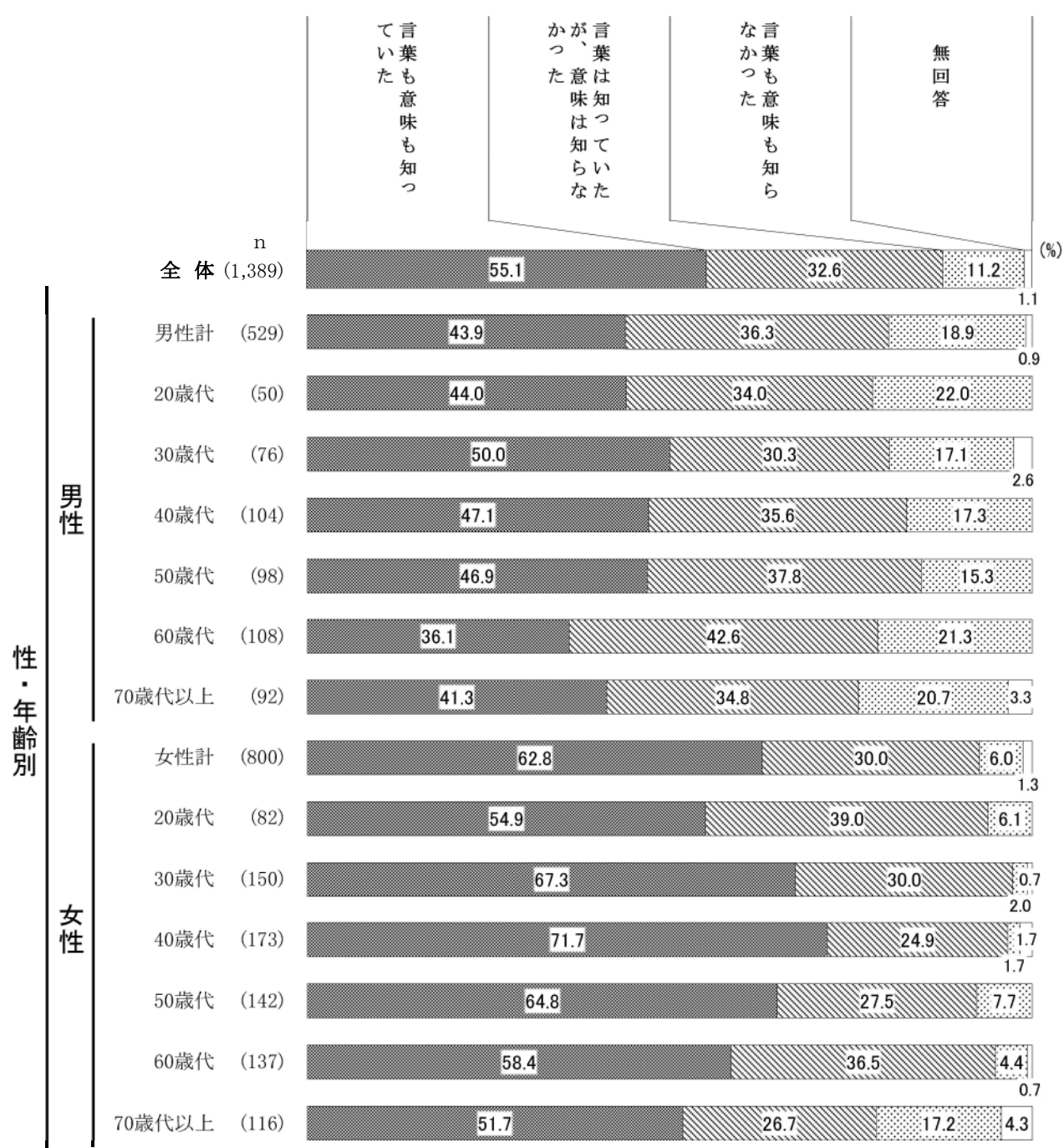
(1) 食育の認知度

問10 食育という言葉や意味を知っていましたか。(○は1つ)

食育の認知度について、「言葉も意味も知っていた」が全体の55.1%で最も多く、次いで「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」32.6%であった。

性・年齢別にみると、「言葉も意味も知っていた」の割合は、全ての年齢で、男性に比べて女性のほうが多く、女性の40歳代では7割を超える。

<図表34 食育の認知度×性・年齢>



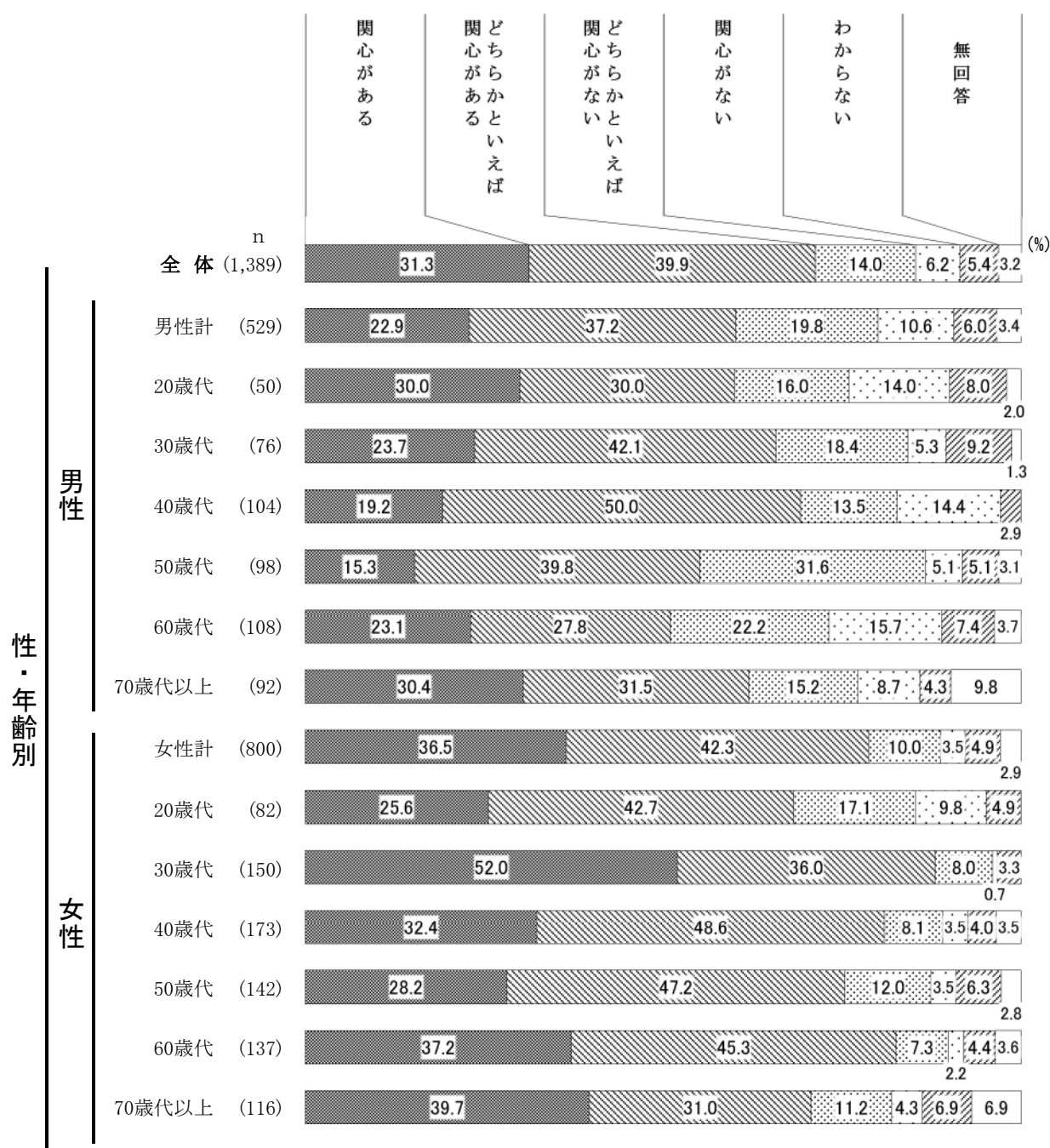
(2) 食育に対する関心

問11 食育に関心がありますか。(○は1つ)

食育に対する関心について、「どちらかといえば関心がある」が全体の39.9%で最も多く、次いで「関心がある」31.3%であった。

性・年齢別にみると、「関心がある」の割合は、男性は20歳代で30.0%、70歳代以上で30.4%と多く、50歳代で15.3%と最も少なくなっている。一方女性は、30歳代で52.0%と最も多く、20歳代で25.6%、50歳代で28.2%と少なくなっている。

<図表35 食育に対する関心×性・年齢>

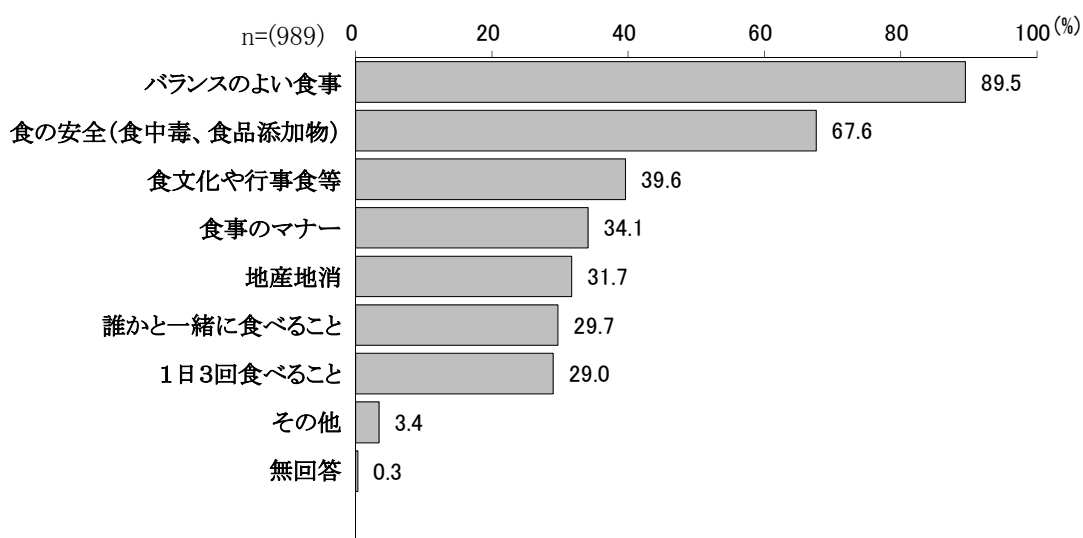


(3) 関心のあること

(問11で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」とお答えの方にお聞きします。)
 問11-1 何に関心がありますか。(あてはまるもの全てに○)

食育に対する関心で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した人に、関心のあることについて聞いたところ、「バランスの良い食事」が全体の89.5%で最も多く、次いで「食の安全(食中毒、食品添加物)」67.6%、「食文化や行事食等」39.6%であった。

<図表36 関心のあること>



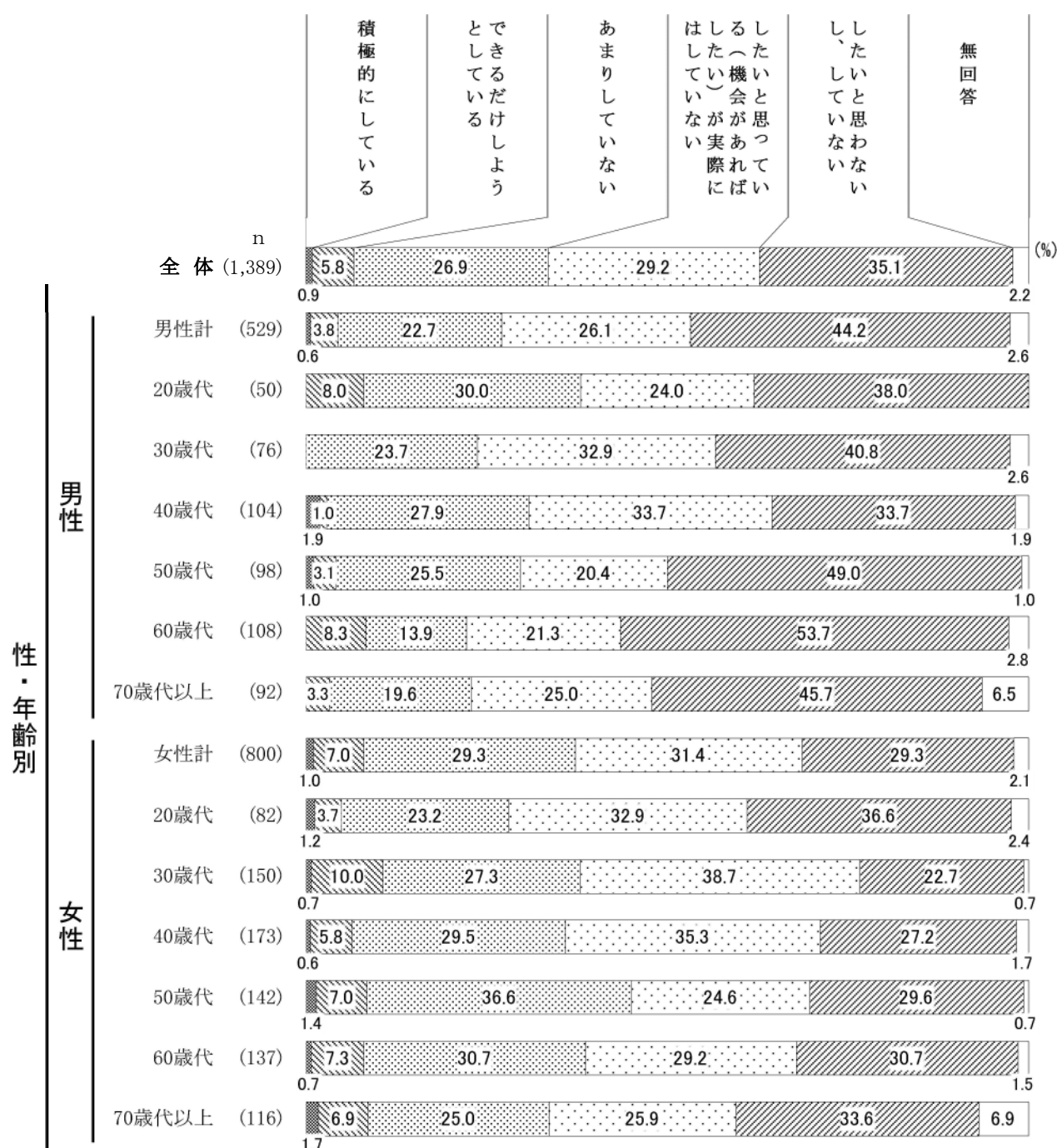
(4) 地域で食育に関する活動や行動の状況

問12 地域で食育に関する何らかの活動や行動をしていますか。(○は1つ)

地域で食育に関する活動や行動の状況について、「したいと思わないし、していない」が全体の35.1%で最も多く、次いで「したいと思っている(機会があればしたい)が実際にはしていない」29.2%、「あまりしていない」26.9%であった。

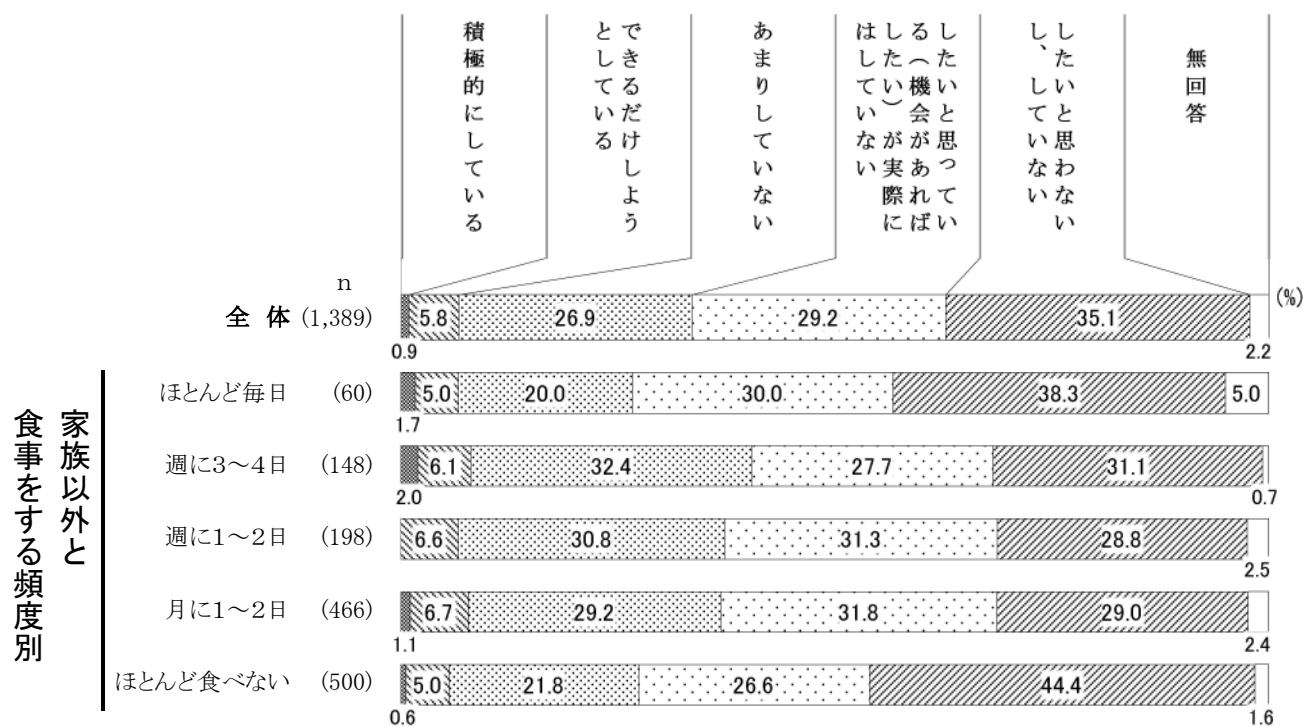
性・年齢別にみると、「したいと思わないし、していない」の割合は、男女とも年齢が上がるほど、その割合も増加する傾向がみられる。また他の年代に比べて、女性20歳代の方が多くなっている。

<図表37 地域で食育に関する活動や行動をしているか×性・年齢>



家族以外と食事をする頻度別にみると、「したいと思わないし、していない」の割合は、ほとんど食べないが44.4%で最も多く、次いでほとんど毎日が38.3%となっている。

<図表38 地域で食育に関する活動や行動をしているか×家族以外と食事をする頻度>



(5) 身近なところで食育を推進するために、必要な取り組み

問13 あなたの身近なところで食育を推進するために、必要な取り組みはどのようなものだと思いますか。ご自由にお書きください。

記入者は514人であった。1人で複数の内容を記入している場合も含むため、記入者数と件数の合計は一致しない。

身近なところで食育を推進するために、必要な取り組みについて聞いたところ、「幼少期からの食育」が105件で最も多く、次いで「情報周知」81件、「食育イベントの開催」68件であった。

<図表39 身近なところで食育を推進するために、必要な取り組み（主な記入内容）>

記入内容	件数
幼少期からの食育	105
情報周知	81
食育イベントの開催	68
地産地消	59
体験活動	40
家族との団らん	34
バランスの良い食事	27
学校給食	19
食の安全性	17
食事会の開催	14
季節感の食への取りこみ	8
親の意識啓発	7
一日三食規則正しく	6

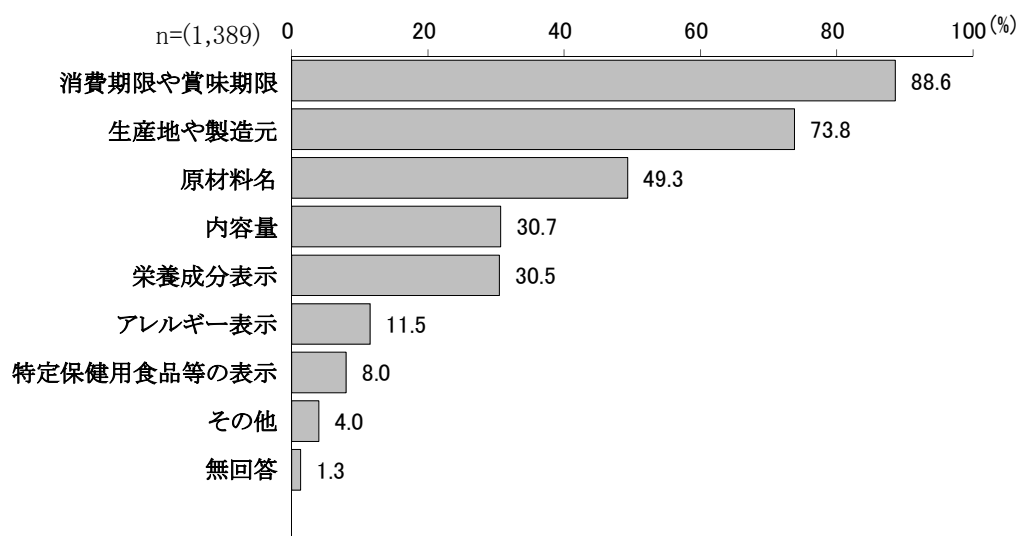
5. 食の情報や安全について

(1) 食品を購入する時に参考になっている表示

問14 食品を購入するときに、表示で参考になっているものは次のどれですか。(あてはまるもの全てに○)

食品を購入する時に参考になっている表示について、「消費期限や賞味期限」が全体の88.6%で最も多く、次いで「生産地や製造元」73.8%、「原材料名」49.3%であった。

<図表40 食品を購入する時に参考になっている表示>

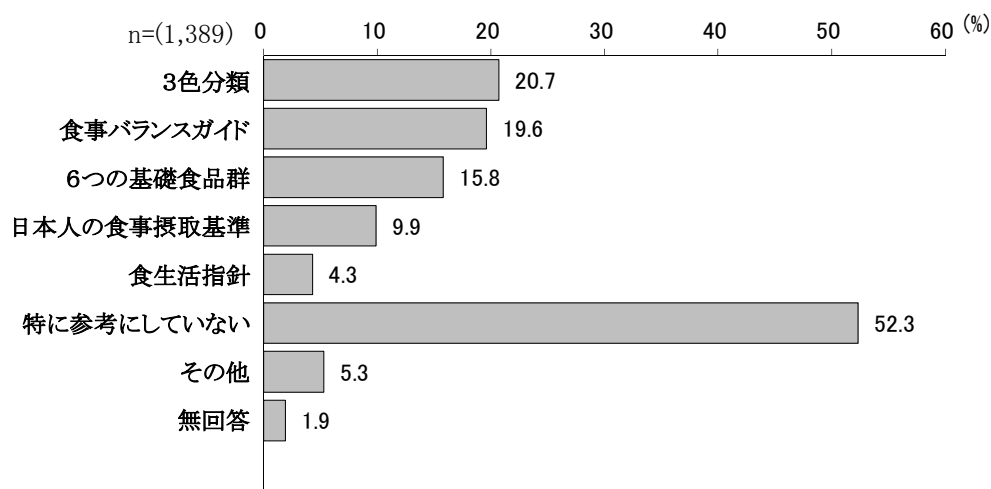


(2) 健康的な食生活を実践するため参考になっているもの

問15 日頃の健康的な食生活を実践するため、参考になっているものはありますか。(〇はあてはまるもの3つまで)

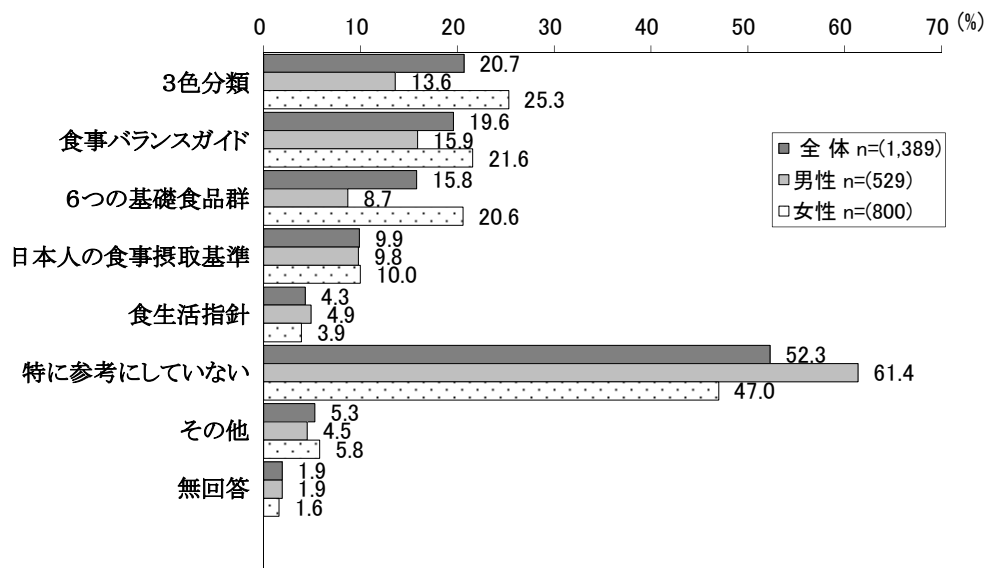
日頃の健康的な食生活を実践するため参考になっているものについて、「特に参考にしていない」が全体の52.3%で最も多い。参考になっているものの中では「3色分類」が20.7%で最も多く、次いで「食品バランスガイド」19.6%、「6つの基礎食品群」15.8%であった。

<図表41 健康的な食生活を実践するため参考になっているもの>



性別にみると、「特に参考にしていない」の割合は、女性に比べて、男性の方が多くなっている。参考をしているものの中では、「3色分類」「食事バランスガイド」「6つの基礎食品群」の割合は、男性に比べて、女性の方が多くなっている。

<図表42 健康的な食生活を実践するため参考になっているもの×性別>

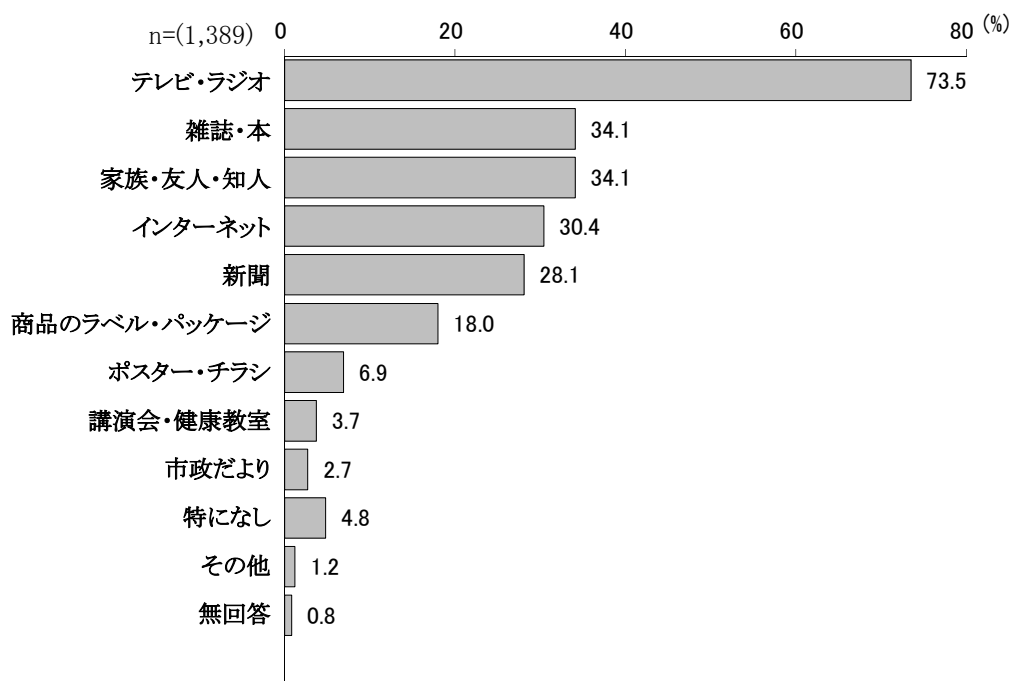


(3) 影響を受ける食や食生活に関する情報源

問16 食や食生活に関する情報源のうち、あなたが影響を受けるものは次のどれですか。
(〇はあてはまるもの3つまで)

影響を受ける食や食生活に関する情報源について、「テレビ・ラジオ」が全体の73.5%で最も多く、次いで「雑誌・本」「家族・友人・知人」34.1%であった。

<図表43 影響を受ける食や食生活に関する情報源>

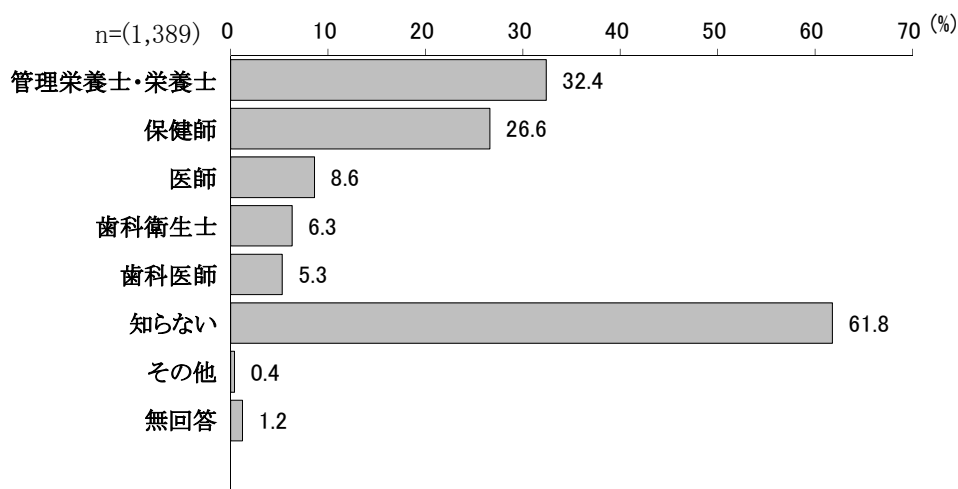


(4) 資格を持った職員が活動している事を知っている資格

問17 各区役所（保健福祉センター）では、食育や健康づくりを推進するために、次の資格をもった職員が活動している事を知っていましたか。（あてはまるもの全てに○）

資格を持った職員が活動している事の認知度について、「知らない」が全体の61.8%であった。活動している職員の資格としては「管理栄養士・栄養士」が32.4%で最も多く、次いで「保健師」26.6%、「医師」8.6%であった。

<図表44 資格を持った職員が活動している事を知っている資格>

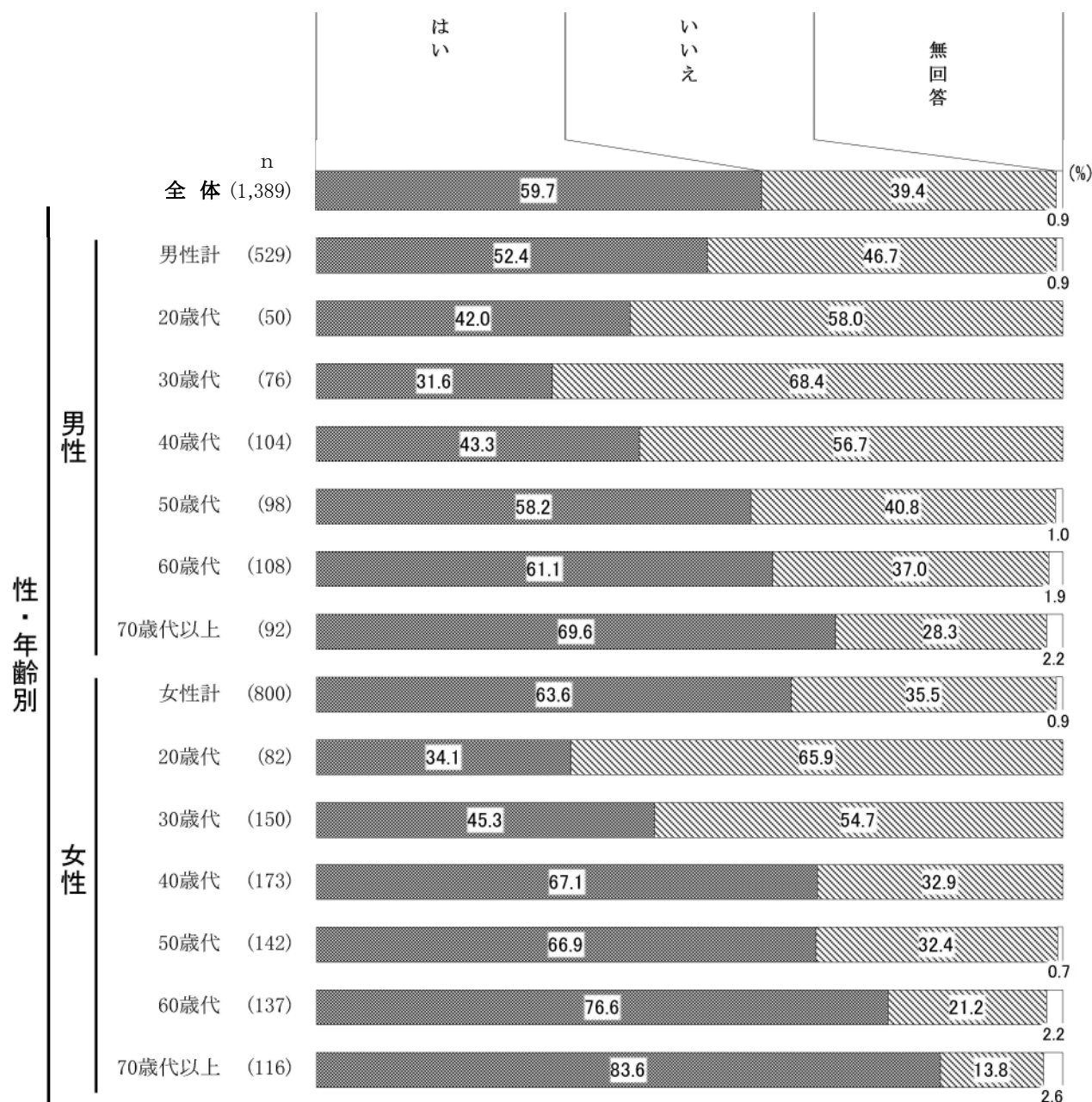


(5) 川崎産の農産物の認知度

問18 川崎産の農産物があることを知っていますか。(〇は1つ)

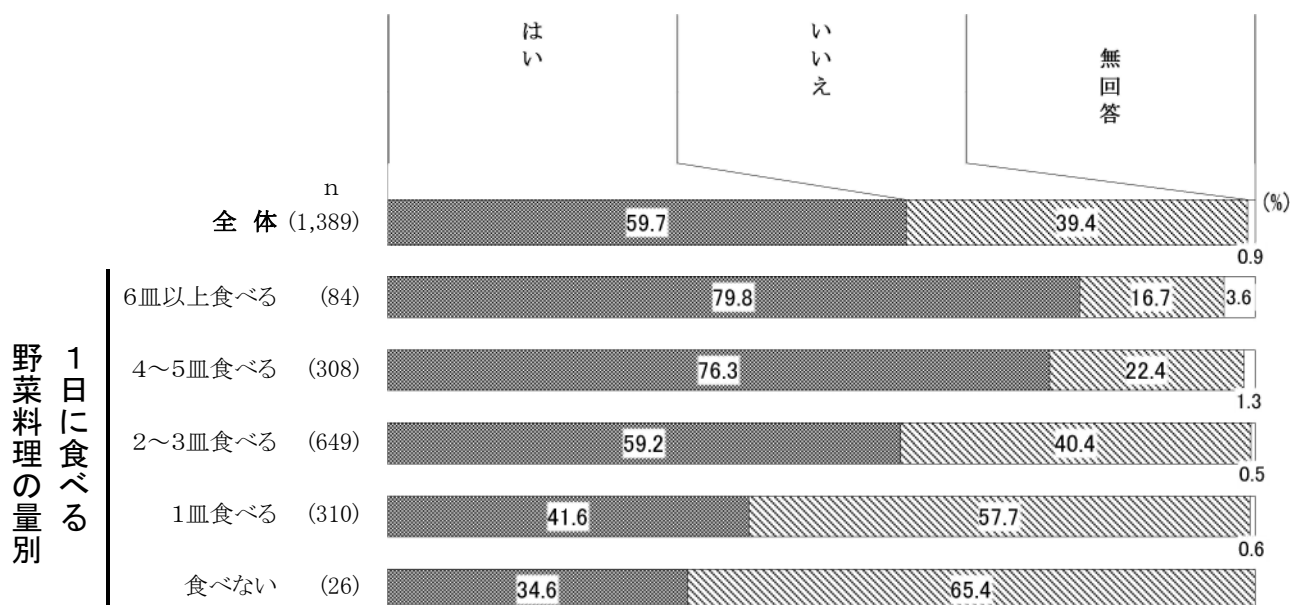
川崎産の農産物を知っているかについて、「はい」が59.7%、「いいえ」39.4%であった。
 性・年齢別にみると、「はい」の割合は、男女ともに年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表45 川崎産の農産物の認知度×性・年齢>



1日に食べる野菜料理の量別にみると、「はい」の割合は、1日に食べる野菜料理の量が増えるほどその割合も増加する傾向がみられる。

<図表46 川崎産の農産物の認知度×1日に食べる野菜料理の量>

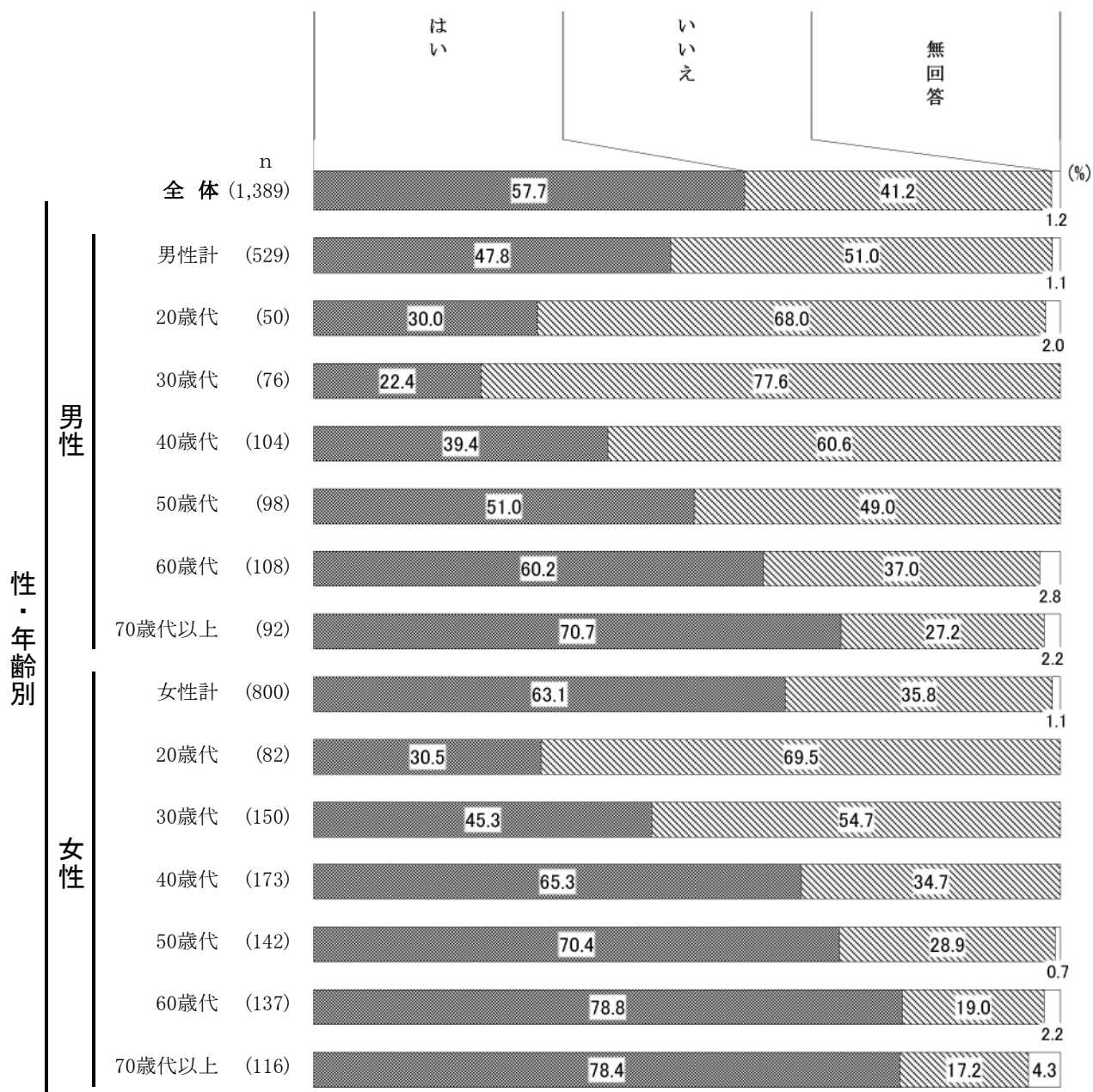


(6) 川崎産農産物の購入の有無

問19 川崎産の農産物を購入したことがありますか。(〇は1つ)

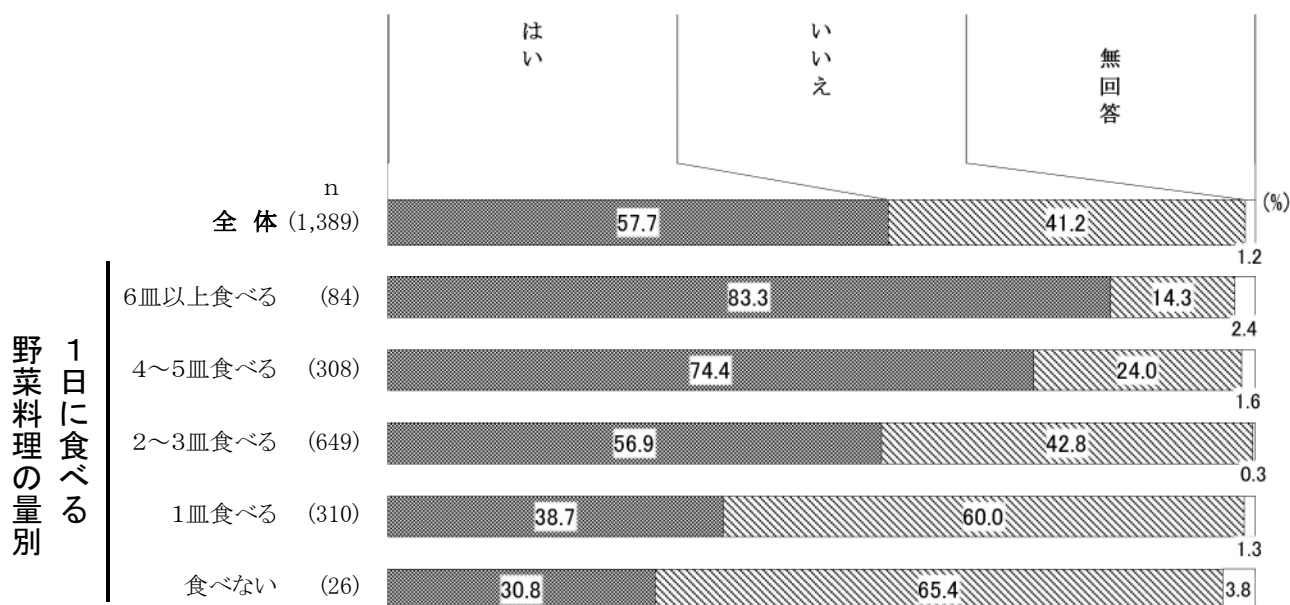
川崎産の農産物の購入の有無について、「はい」が57.7%、「いいえ」41.2%であった。
 性・年齢別にみると、「はい」の割合は、男女ともに年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表47 川崎産農産物の購入の有無×性・年齢>



1日に食べる野菜料理の量別にみると、「はい」の割合は、1日に食べる野菜料理の量が増えるほどその割合も増加する傾向がみられる。

＜図表48 川崎産農産物の購入の有無×1日に食べる野菜料理の量＞



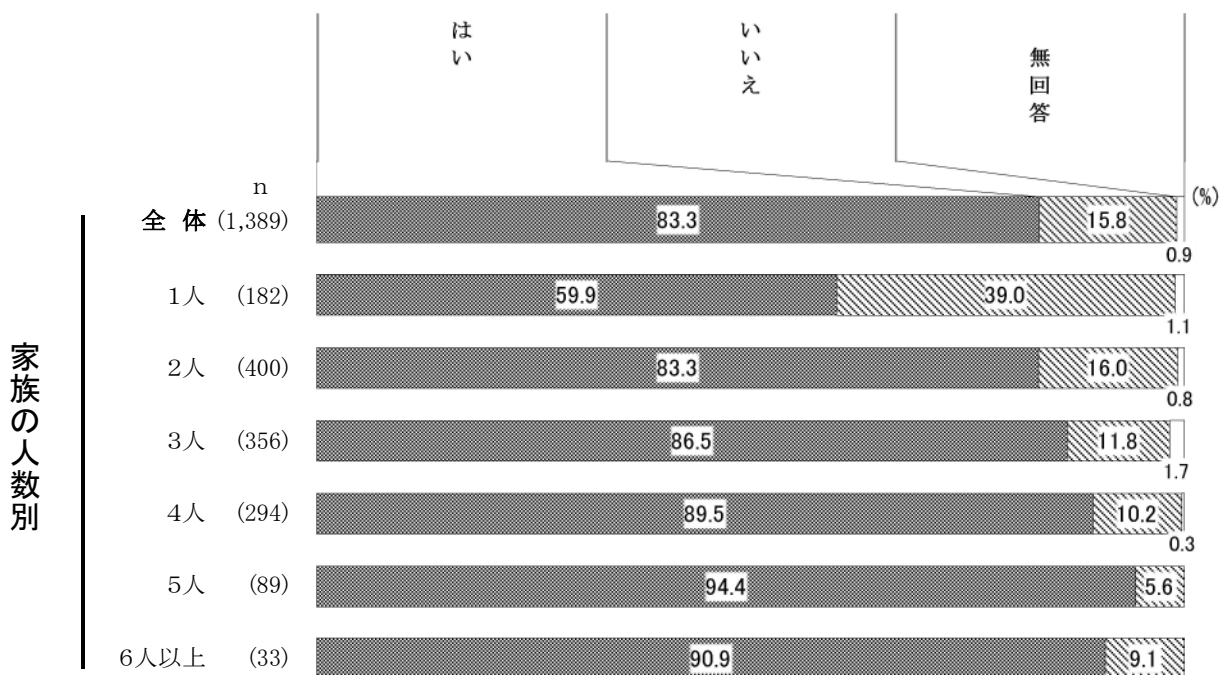
(7) 家庭での「行事食」の摂取状況

問20 家庭で「行事食」を食べていますか。(〇は1つ)

家庭での「行事食」の摂取状況について、食べている(「はい」)が83.3%、食べていない(「いいえ」)15.8%であった。

家族の人数別にみると、「はい」の割合は、家族の人数が増えるほどその割合も増加する傾向がみられる。

<図表49 家庭での「行事食」の摂取状況×家族の人数>



6. 災害時の非常食について

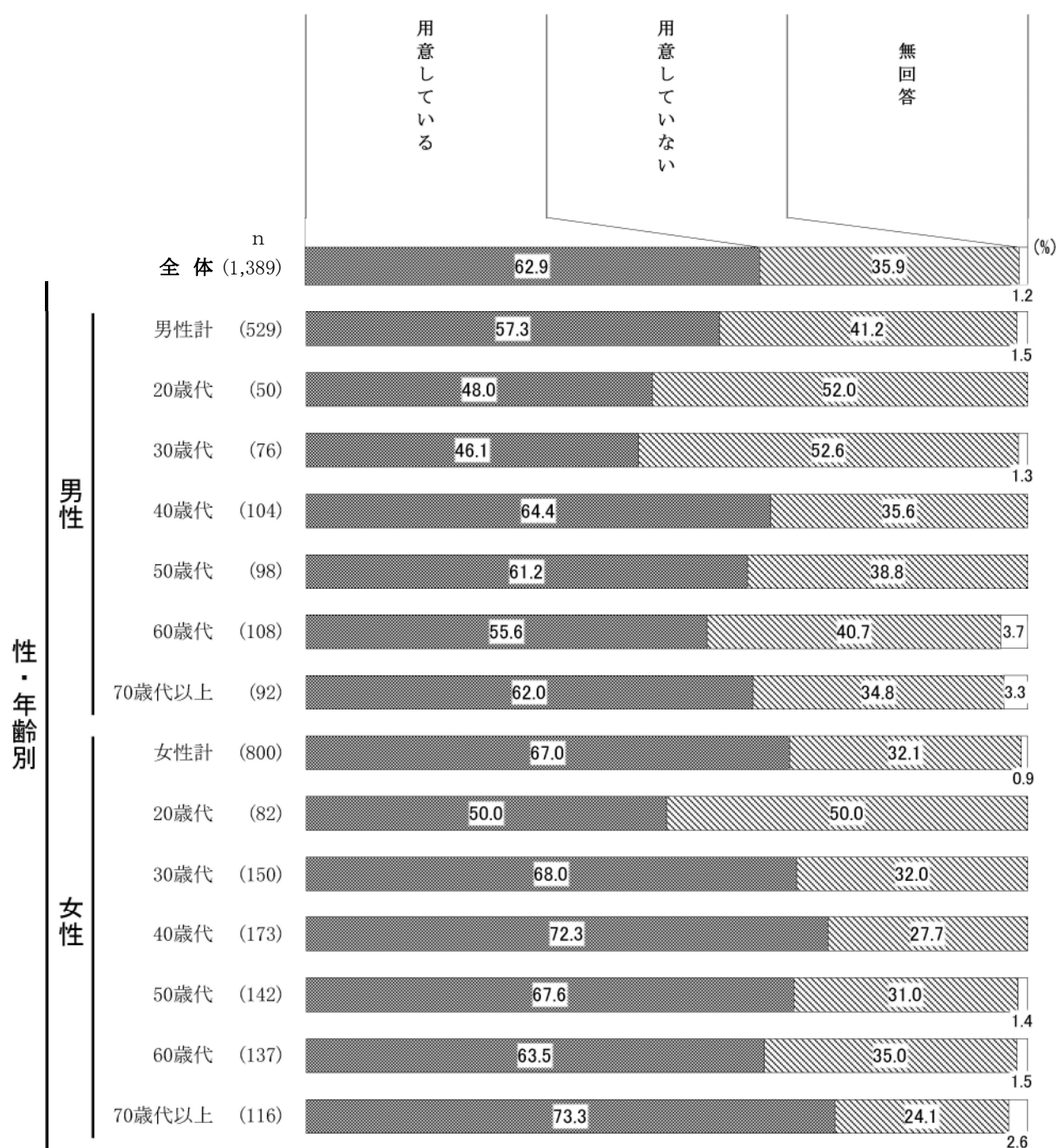
(1) 災害に備えた非常用の食料や飲料の有無

問21 災害時に備えて、非常用の食料や飲料を用意していますか。(〇は1つ)

災害に備えた非常用の食料や飲料の有無について、「用意している」が62.9%、「用意していない」35.9%であった。

性・年齢別にみると、「用意している」の割合は、男性は20歳代で48.0%、30歳代で46.1%、女性は20歳代で50.0%と少なくなっている。

<図表50 災害に備えた非常用の食料や飲料の有無×性・年齢>



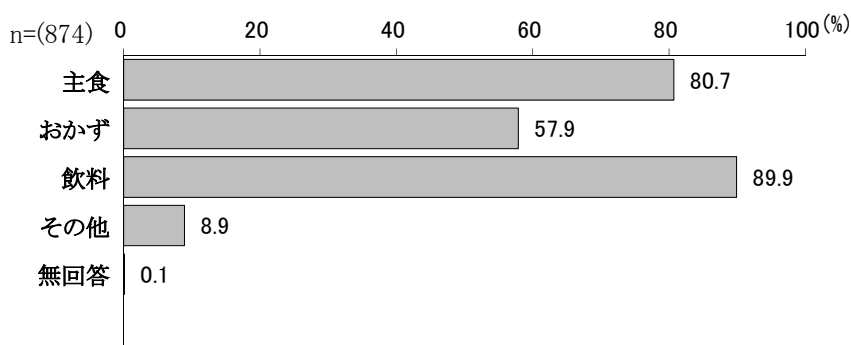
(2) 用意している非常用の食料等

(問21で「用意している」とお答えの方にお聞きします)

問21-1 非常用の食料等としてどんなものを用意していますか。(あてはまるもの全てに○)

災害に備えた非常用の食料や飲料の有無について「用意している」と回答した人に、用意している非常用の食糧等の種類について聞いたところ、「飲料」が全体の89.9%で最も多く、次いで「主食」80.7%、「おかず」57.9%であった。

<図表51 用意している非常用の食料等>



7. 健康について

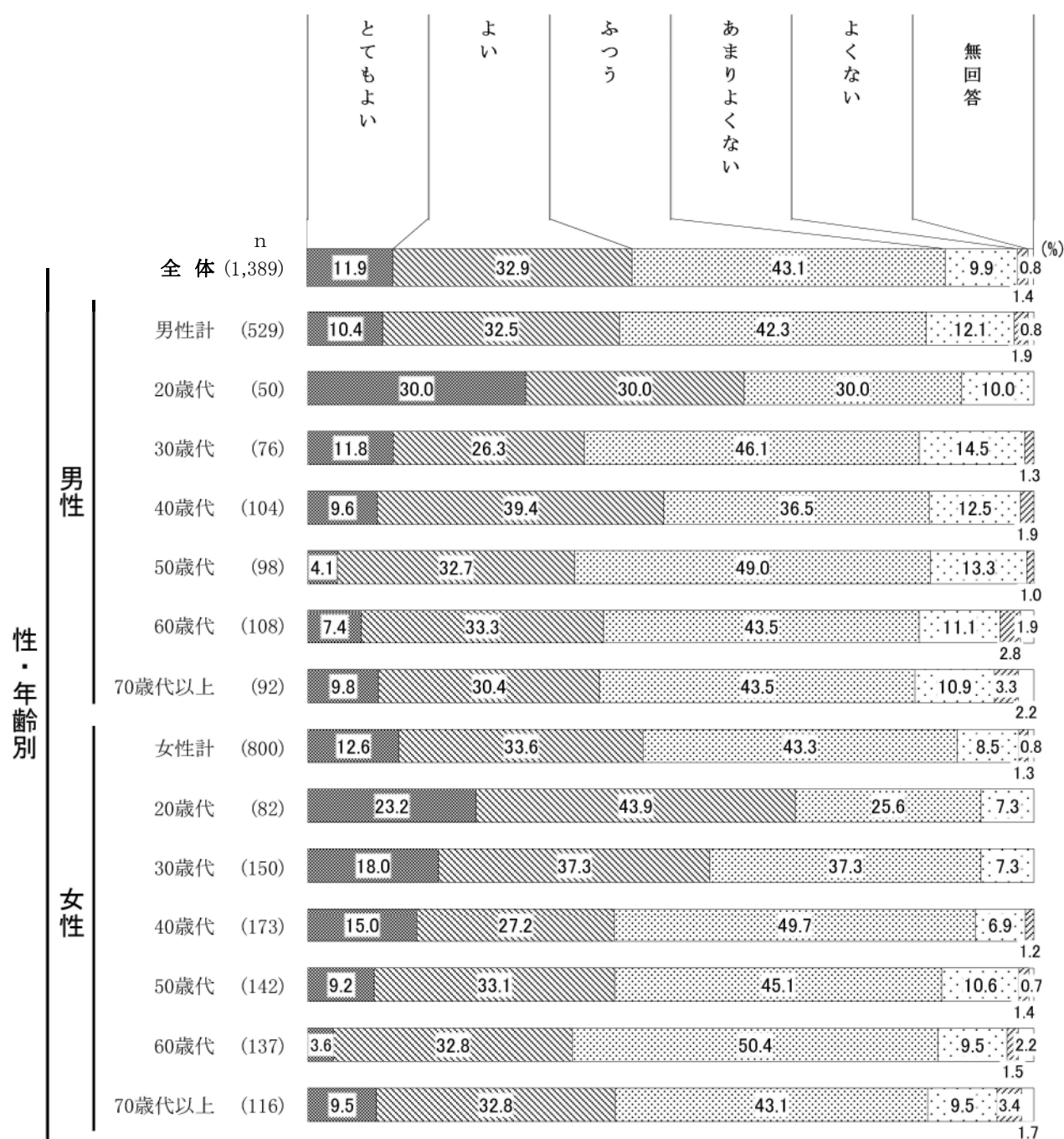
(1) 現在の健康状態

問22 現在の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

現在の健康状態について、「ふつう」が全体の43.1%で最も多く、次いで「よい」32.9%、「とてもよい」11.9%であった。

性・年齢別にみると、「とてもよい」の割合は、年齢があがるほど、その割合が減少する傾向がみられるが、男性の60歳代以上、女性の70歳代以上では割合が増加している。

<図表52 現在の健康状態×性・年齢>

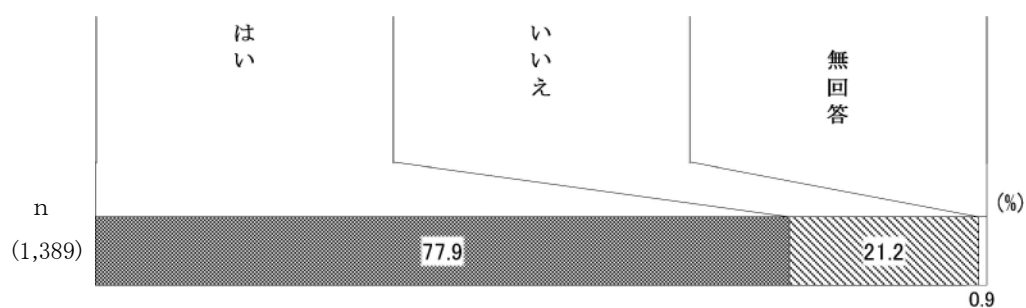


(2) 健診（健康診断、健康診査、人間ドック等）の有無

問23 過去1年間に、健診（健康診断、健康診査、人間ドック等）を受けましたか。（○は1つ）

過去1年間の健診の有無について、受診した（「はい」）が77.9%、受診していない（「いいえ」）が21.2%であった。

<図表53 健診の有無>



(3) 生活習慣病の予防及び改善のためにできること

問24 生活習慣病の予防及び改善のためにできることは何ですか。次の質問についてあてはまるものに○をつけてください。(各項目に○は1つ)

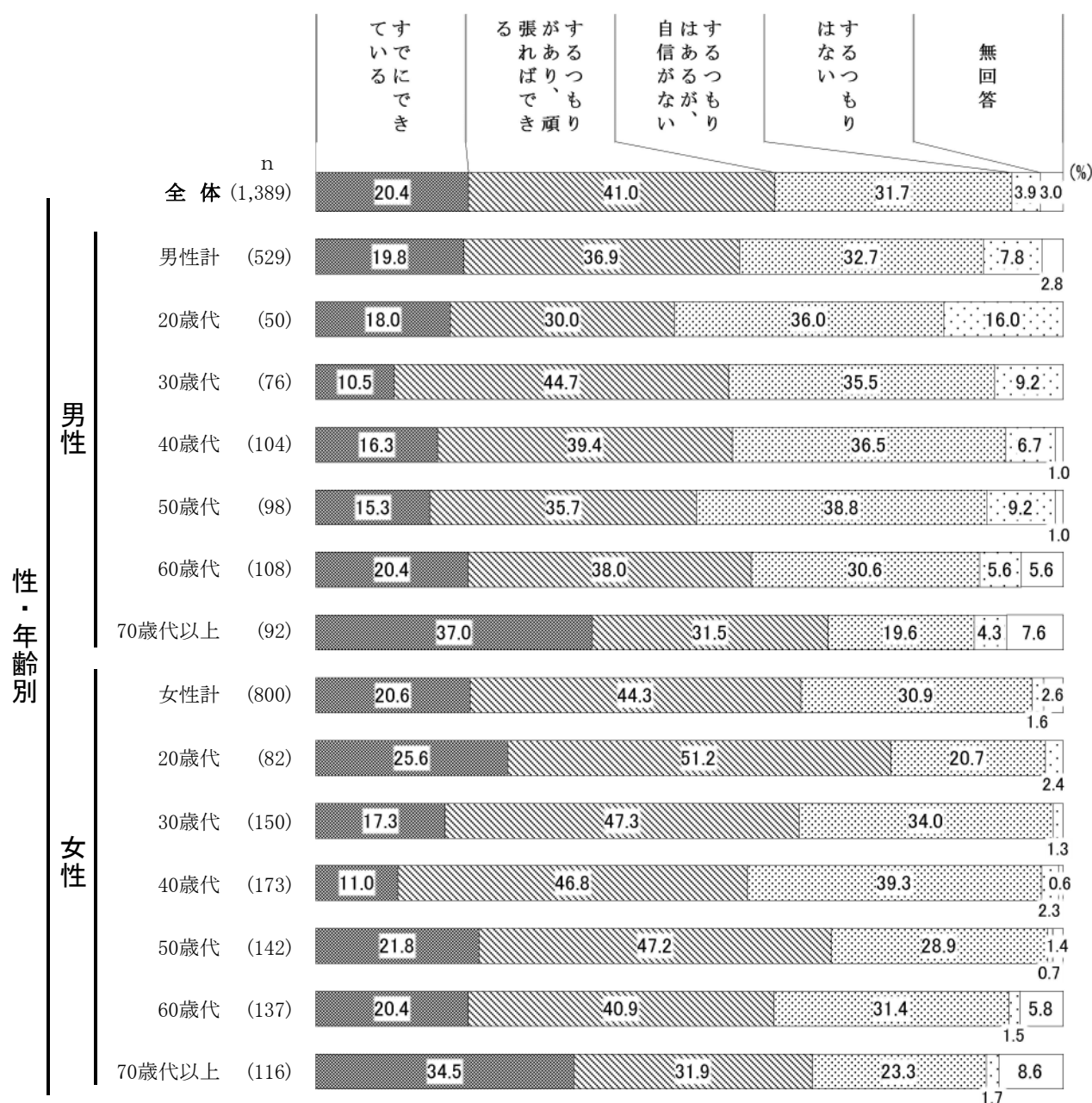
生活習慣病の予防及び改善のためにできること（6項目）の実行状況の程度についてたずねた。

①よく噛んでゆっくり食べること

よく噛んでゆっくり食べることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」が全体の41.0%で最も多く、次いで「するつもりはあるが、自信がない」31.7%であった。

性・年齢別にみると、「すでにできている」の割合は、男女とも70歳代以上が最も多くなっている。

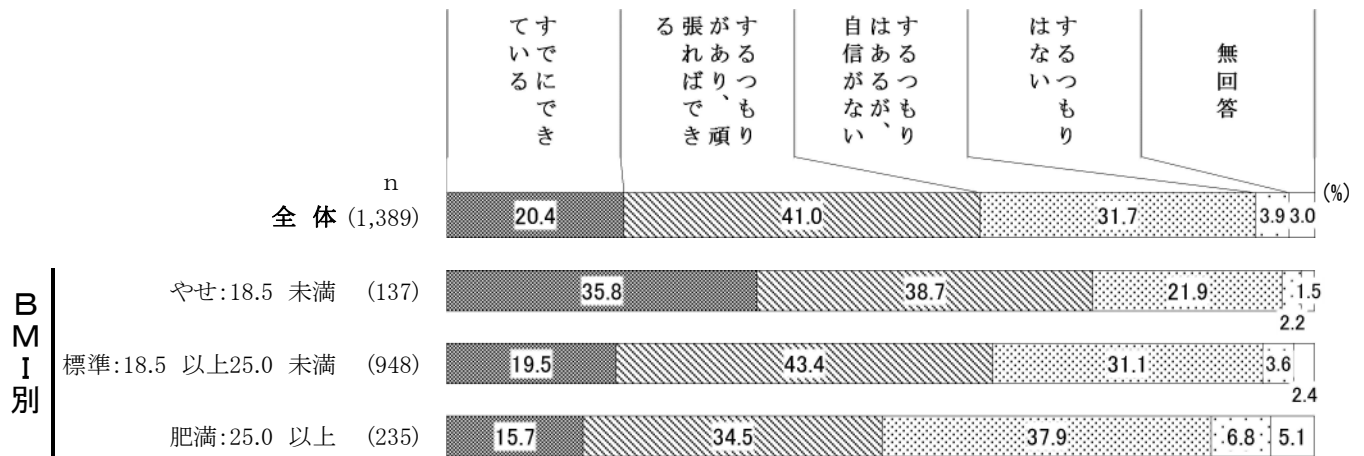
<図表54 よく噛んでゆっくり食べること×性・年齢>



第2章 調査結果の詳細

よく噛んでゆっくり食べるについて、BMI別にみると、「すでにできている」の割合は、やせの方が35.8%で最も多くなっている。

<図表55 よく噛んでゆっくり食べること×BMI>

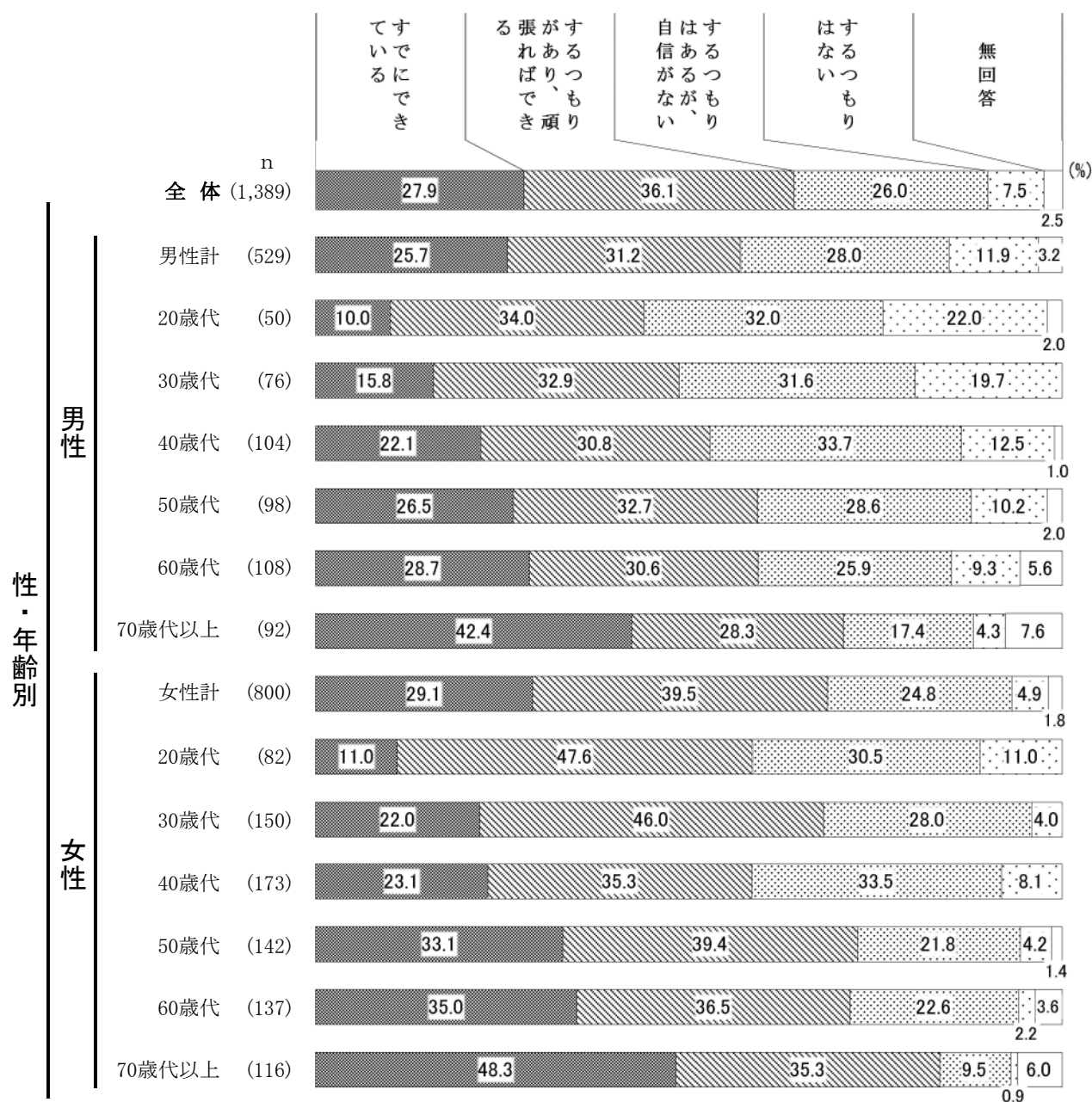


②減塩をすること

減塩をすることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」が全体の36.1%で最も多く、次いで「すでにできている」27.9%であった。

性・年齢別にみると、「すでにできている」の割合は、男女とも年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

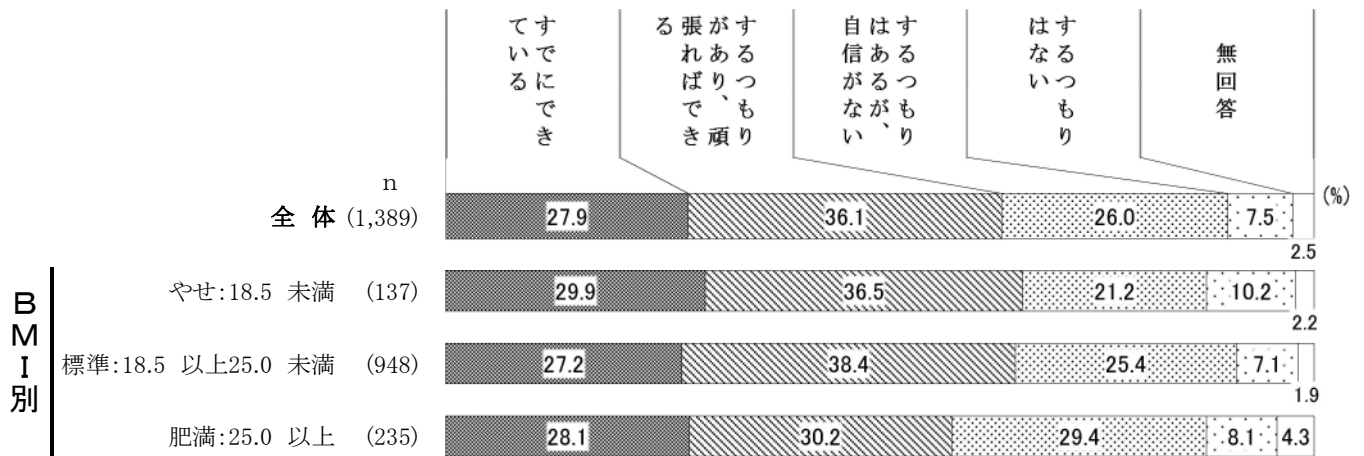
<図表56 減塩をすること×性・年齢>



第2章 調査結果の詳細

減塩をすることについて、BMI別にみると、「すでにできている」の割合は、やせ、標準、肥満で大きな差は見られない。

<図表57 減塩をすること×BMI>

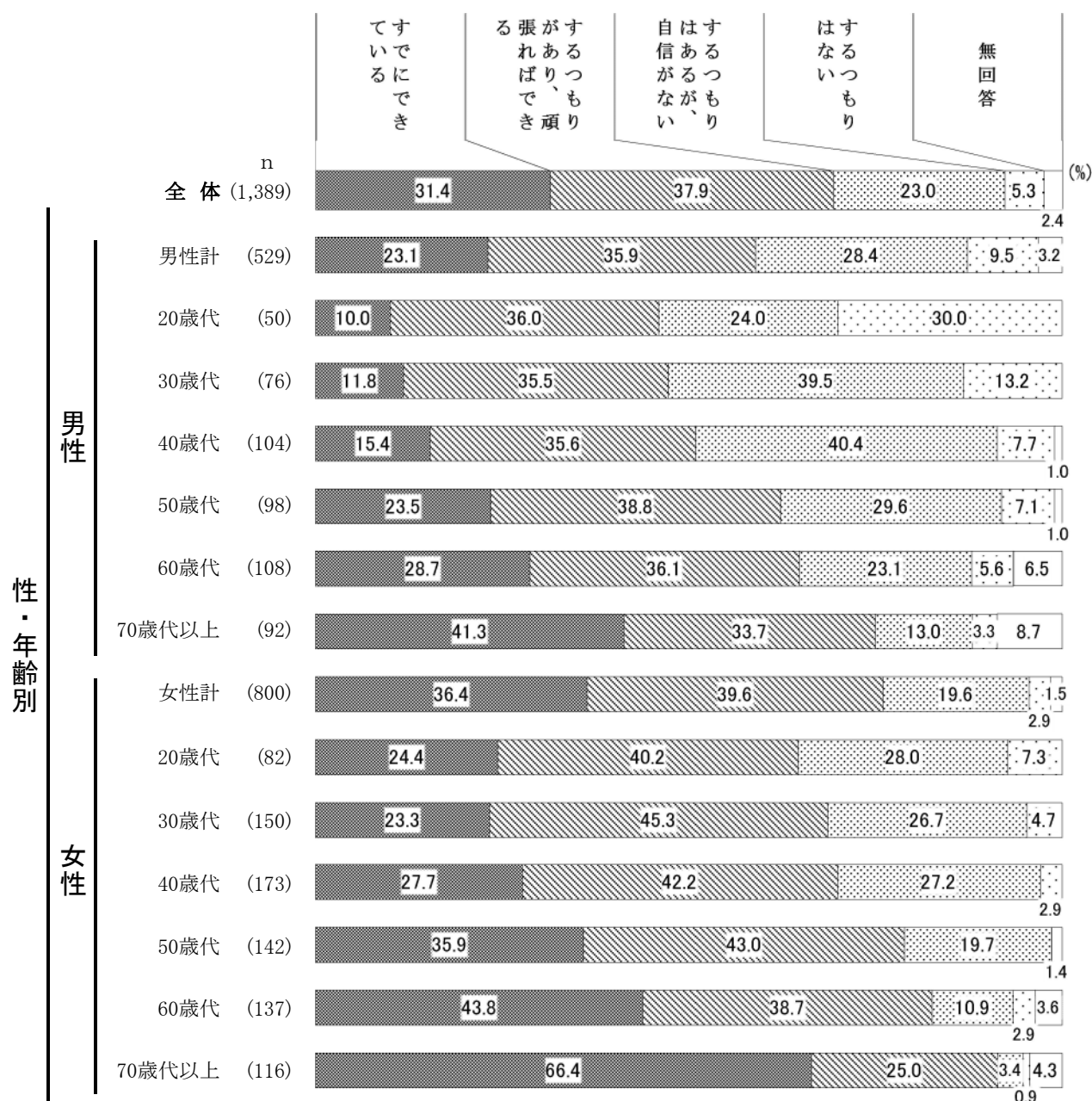


③脂っこい食事を避けること

脂っこい食事を避けることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」が全体の37.9%で最も多く、次いで「すでにできている」31.4%であった。

性・年齢別にみると、「すでにできている」の割合は、男女とも年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

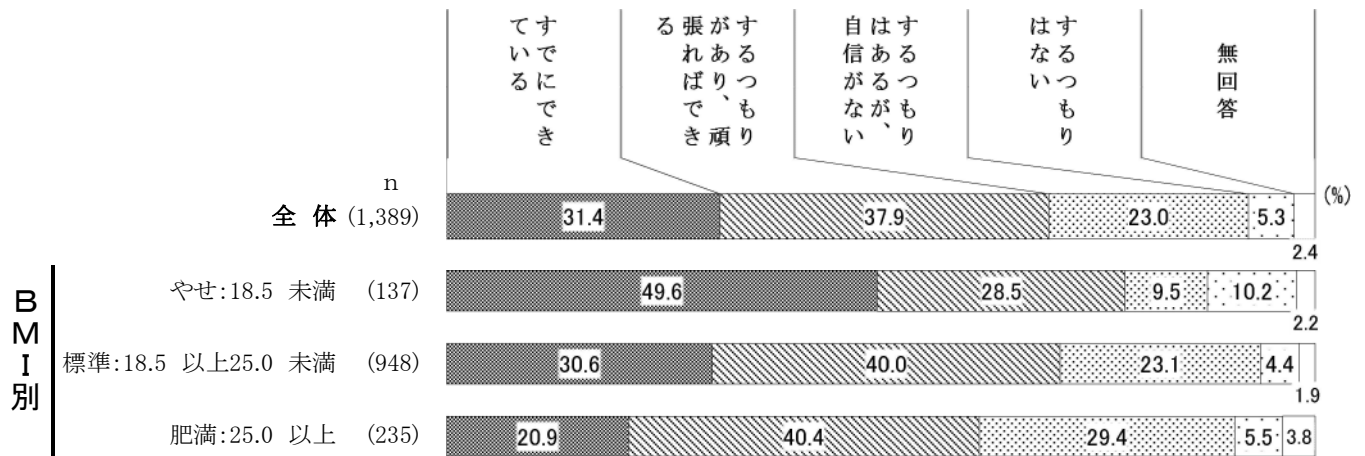
<図表58 脂っこい食事を避けること×性・年齢>



第2章 調査結果の詳細

脂っこい食事を避けることについて、BMI別にみると、「すでにできている」の割合は、やせの方が49.6%で最も多くなっている。

<図表59 脂っこい食事を避けること×BMI>

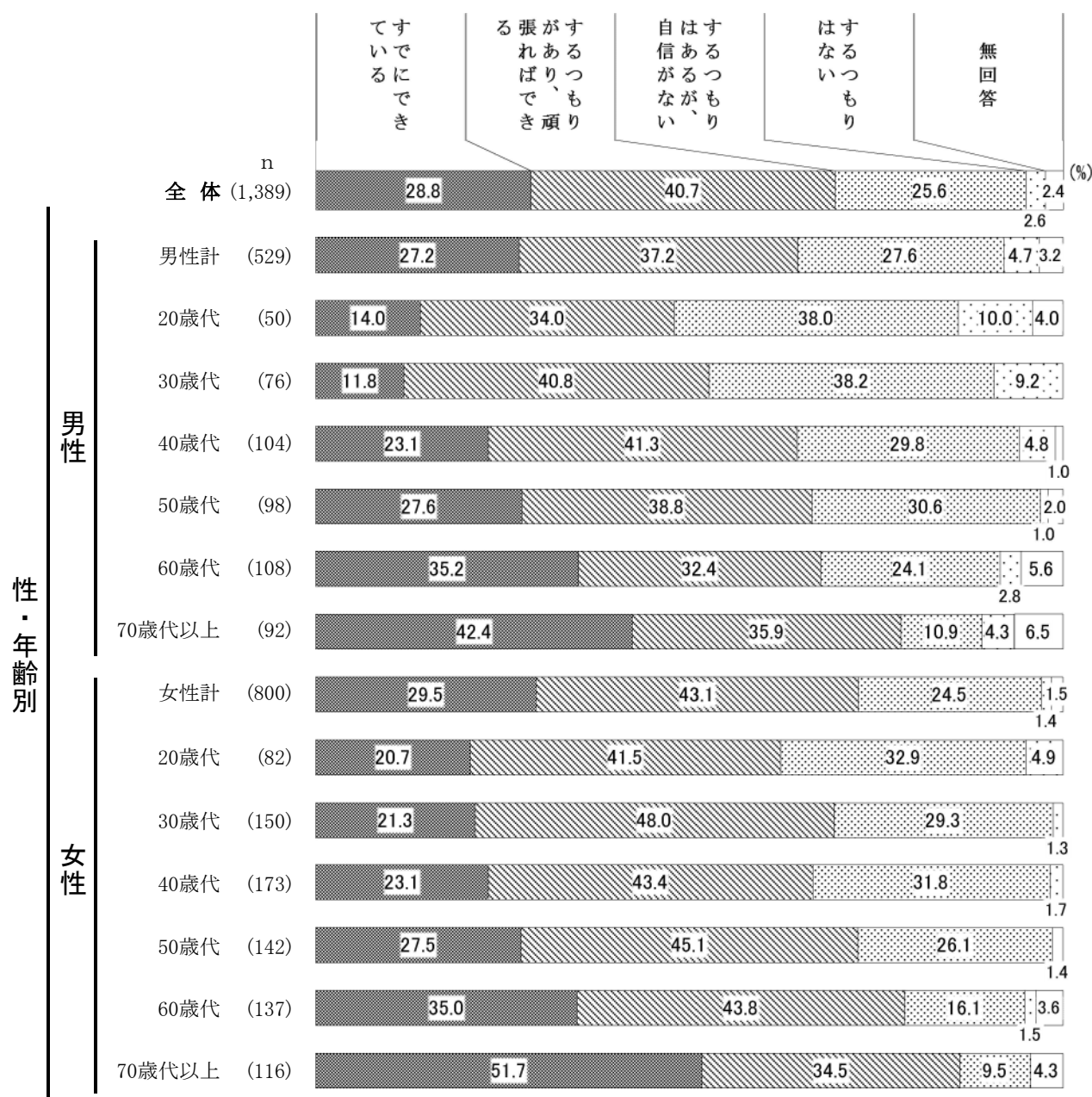


④食べ過ぎないようにすること

食べ過ぎないようにすることについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」が全体の40.7%で最も多く、次いで「すでにできている」28.8%であった。

性・年齢別にみると、「すでにできている」の割合は、男女とも年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

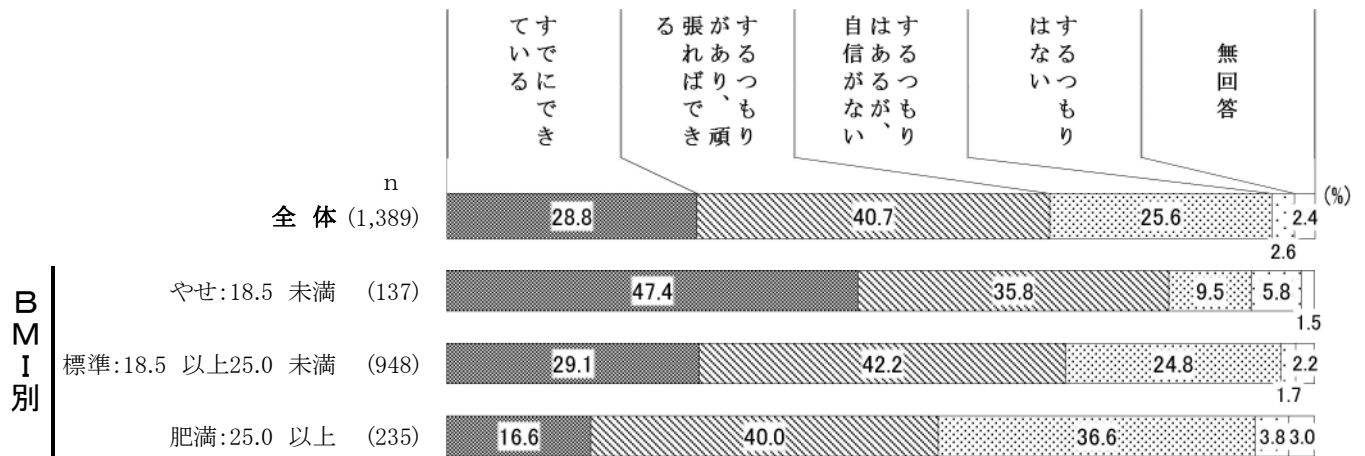
<図表60 食べ過ぎないようにすること×性・年齢>



第2章 調査結果の詳細

食べ過ぎないようにすることについて、BMI別にみると、「すでにできている」の割合は、やせの方が47.4%で最も多くなっている。

<図表61 食べ過ぎないようにすること×BMI>



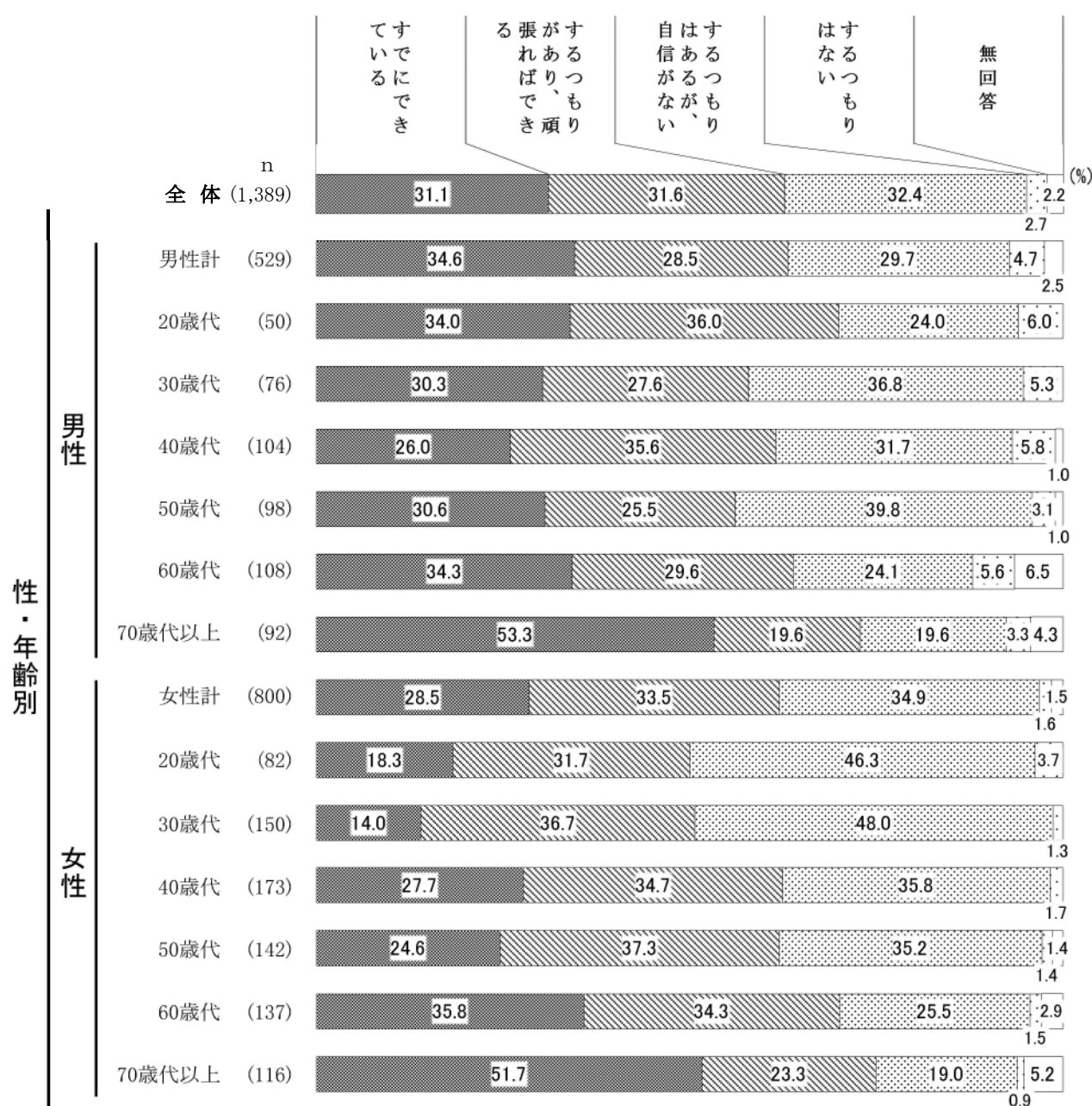
⑤運動をしたり、日常生活でこまめに身体を動かすこと

運動をしたり、日常生活でこまめに身体を動かすことについて、「するつもりがあり、頑張ればできる」が全体の31.6%で最も多く、次いで「するつもりはあるが、自信がない」32.4%であった。

性・年齢別にみると、「すでにできている」の割合は、男性は40歳代までは年齢があがるほど、その割合も減少する傾向がみられるが、50歳代以降は年齢があがるほど、その割合が増加する傾向がみられる。

女性は30歳代までは年齢があがるほど、その割合も減少する傾向がみられるが、50歳代以降は年齢があがるほど、その割合が増加する傾向がみられる。

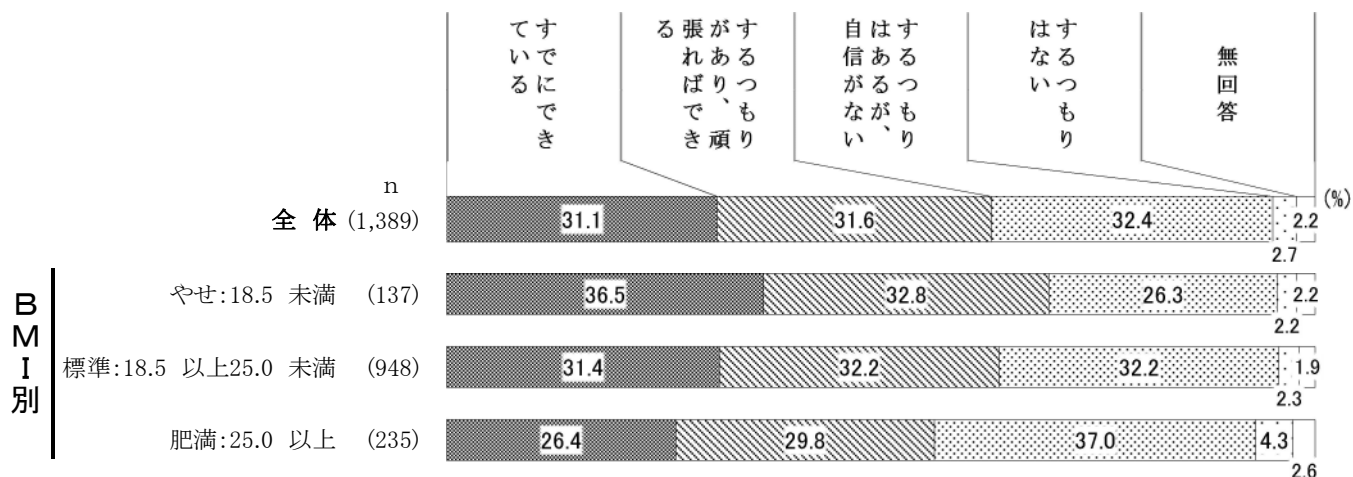
<図表62 運動をしたり、日常生活でこまめに身体を動かすこと×性・年齢>



第2章 調査結果の詳細

運動をしたり、日常生活でこまめに身体を動かすことについて、BMI別にみると、「すでにできている」の割合は、やせの方が36.5%で最も多くなっている。

<図表63 運動をしたり、日常生活でこまめに身体を動かすこと×BMI>

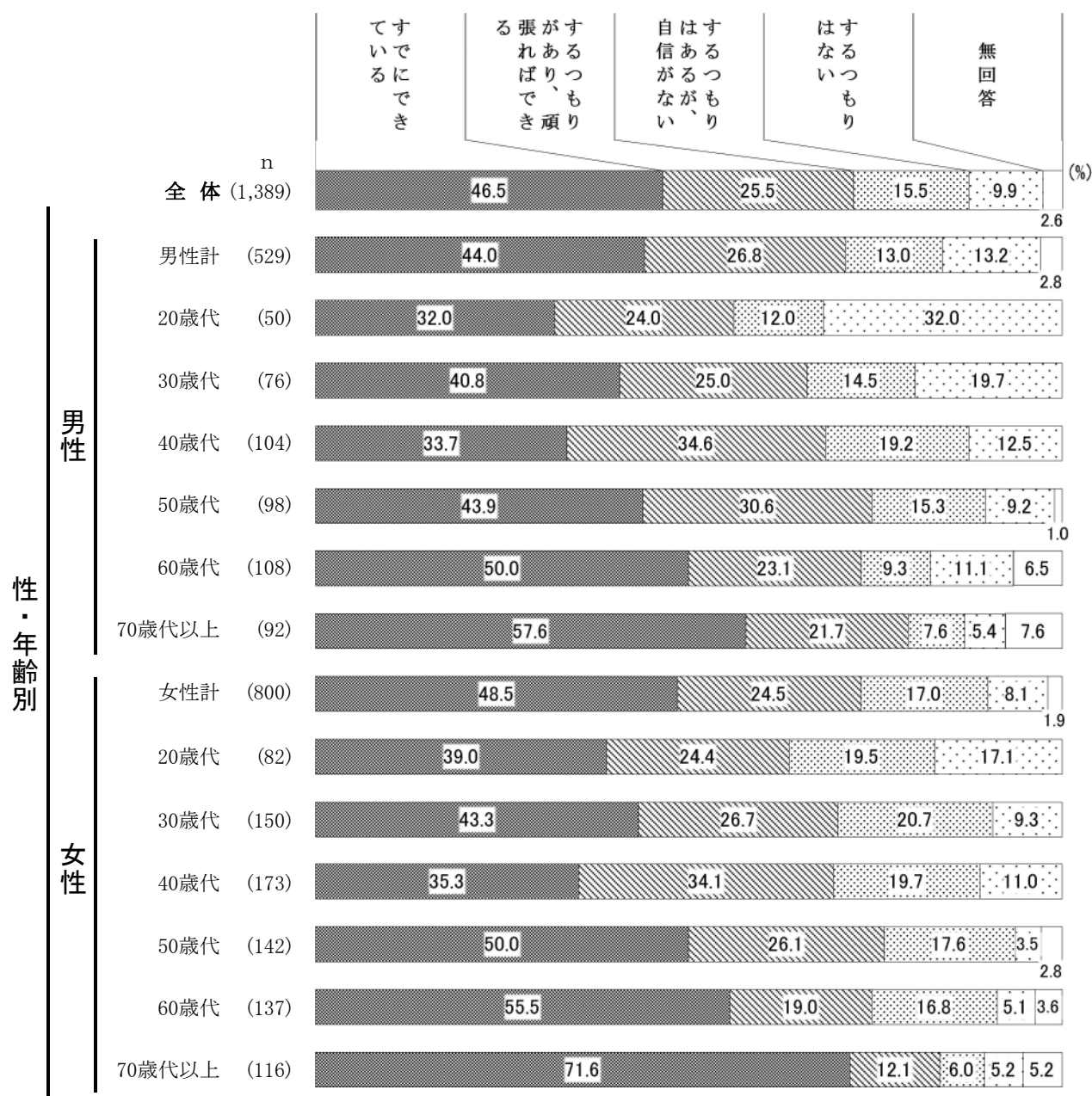


⑥定期的に体重を測ること

定期的に体重を測ることについて、「すでにできている」が全体の46.5%で最も多く、次いで「するつもりがあり、頑張ればできる」25.5%であった。

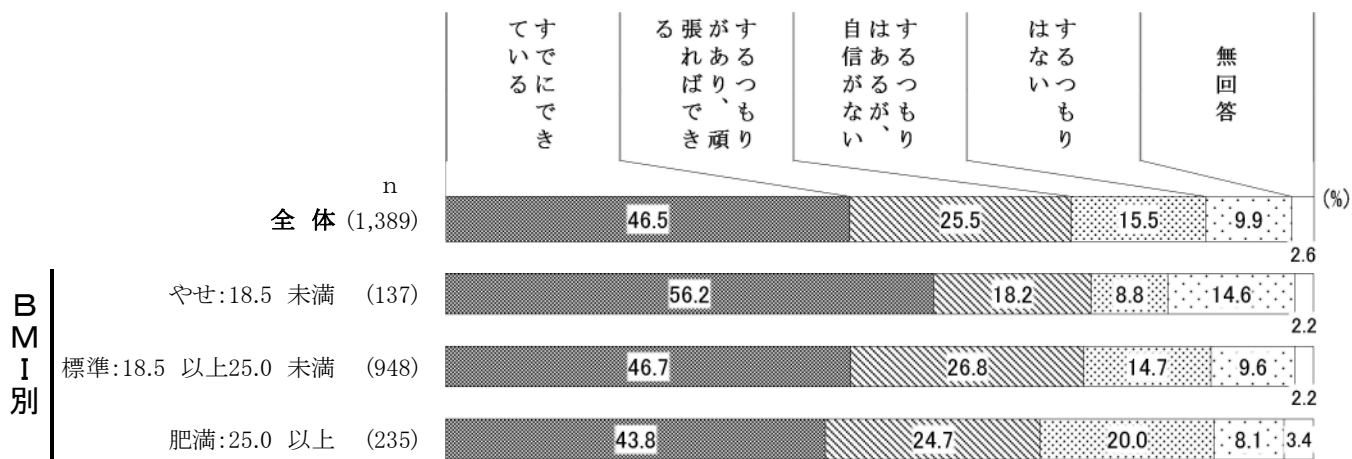
性・年齢別にみると、「すでにできている」の割合は、男女とも年齢があがるほど、その割合も増加する傾向がみられる。

<図表64 定期的に体重を測ること×性・年齢>



定期的に体重を測ることについて、BMI別にみると、「すでにできている」の割合は、やせの方が56.2%で最も多くなっている。

<図表65 定期的に体重を測ること×BMI>



8. 理想の食事・食卓について

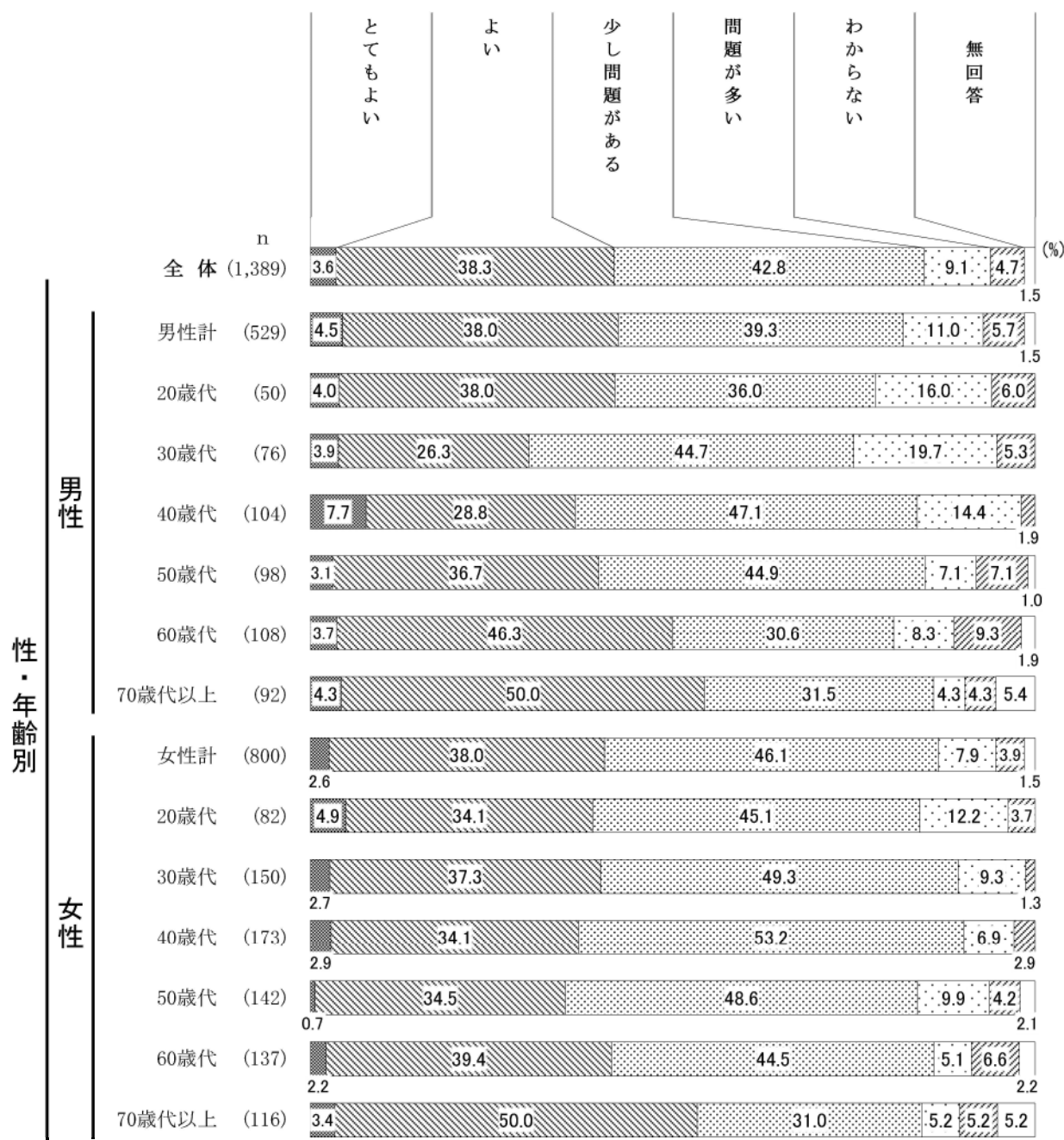
(1) 自身の食生活に対する評価

問25 ご自身の食生活をどう思いますか。(〇は1つ)

自身の食生活に対する評価について、「少し問題がある」が全体の42.8%で最も多く、次いで「よい」38.3%であった。

性・年齢別にみると、「少し問題がある」の割合は、男性は30歳代・40歳代・50歳代でともに4割以上と最も多く、女性は20歳代から60歳代までで最も多い。また男女とも、70歳代以上で「よい」の割合が最も多くなっている。

<図表66 自身の食生活に対する評価×性・年齢>



(2) 理想的な食事・食卓

問26 あなたにとって理想的な食事・食卓はどのようなものですか。ご自由にお書きください。

記入者は866人であった。1人で複数の内容を記入している場合も含むため、記入者数と件数の合計は一致しない。

理想的な食事・食卓について聞いたところ、「バランスの良い食事」が370件で最も多く、次いで「家族や仲間との食事」259件、「野菜中心の食事」55件であった。

<図表67 理想的な食事・食卓（主な記入内容）>

記入内容	件数
バランスの良い食事	370
家族や仲間との食事	259
野菜中心の食事	55
一日三食規則正しく	47
健康に留意した食生活	45
和食中心の食事	32
美味しく楽しい食事	27
一汁三菜	25
手作りの食事	22
好きなものを食べる	19
ゆっくり食べる	12
感謝の気持ちを持つ	8

(3) 理想的な食事・食卓にするために必要なもの

問27 理想的な食事・食卓にするために何が必要ですか。ご自由にお書きください。

記入者は779人であった。1人で複数の内容を記入している場合も含むため、記入者数と件数の合計は一致しない。

理想的な食事・食卓にするために必要なものについて聞いたところ、「時間的余裕」が146件で最も多く、次いで「家族の協力」112件、「食に対する知識・技術の習得」101件であった。

<図表68 理想的な食事・食卓にするために必要なもの（主な記入内容）>

記入内容	件数
時間的余裕	146
家族の協力	112
食に対する知識・技術の習得	101
経済的余裕	71
バランスの良い食事	45
就労環境の改善	36
健康に留意した食生活	33
食材の入手	31
自身、家族の健康	30
手作りの食事	29
食の安全性	29
規則正しい生活	28
レパートリーを増やす	27
野菜中心の食事	26
食に対する意識を持つ	26
精神的ゆとり	23
努力	21
美味しい食事	12
感謝の気持ちを持つ	8
雰囲気づくり	8
好き嫌いをなくす	7

資料 調査票

川崎市の食育の現状と意識に関する調査

川崎市では、市民の皆さんが健全な食生活を実践できるように、第3期川崎市食育推進計画（2014～2016年度）を策定し、食育を推進しています。

今後さらに「食育」を推進していくため、市民の皆さんの食に関する現状やお考え等をお聞かせください。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※食育とは、様々な体験を通して食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようにすることをいいます。

【ご記入にあたってのお願い】

- あて名のご本人がアンケートにお答えください。
- ご記入は、濃い鉛筆または、ボールペン・万年筆でお願いいたします。
- お答えは、あてはまる答えの選択肢や番号を○で囲んでください。

（記入例1）

①	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

（記入例2）	毎日食べる	週4～5回	週2～3回	食べない
（1）朝食	①	2	3	4
（2）昼食	1	②	3	4

- 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内に具体的に、その内容をご記入ください。
- お答えは、設問ごと（○は1つ）（あてはまるもの全てに○）など指定されていますので、お間違えのないようお気をつけください。
- 設問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをお読みください。
- ご記入いただいた調査票は、1月25日（月）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函していただきますよう、お願いいたします。

◎この調査は、平成27年12月1日現在で市内在住の満20歳以上から無作為に選んだ3,500名の方へ調査をお願いしています。

◎この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。

◎この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは決してありません。

◎この調査の結果はすべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

【問い合わせ先】本調査についてご不明な点がございましたら、調査担当課までお問い合わせください。

＜調査担当課＞ 川崎市健康福祉局健康安全部健康増進課
 電話 044-200-2451（直通）
 FAX 044-200-3986
 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

◆普段の食生活について

問1 1日に何回食事をしますか。(間食・夜食を除きます。)(○は1つ)

1	1回	2	2回	3	3回	4	4回以上	5	その他()
---	----	---	----	---	----	---	------	---	--------

問2 主食(ごはん・パン・めんなど)、主菜(魚・肉・卵・大豆製品の料理)、副菜(野菜を主にした料理)をそろえて食べることが1日のうちに何回ありますか。(○は1つ)

1	1回	2	2回	3	3回	4	4回以上	5	ほとんどない
---	----	---	----	---	----	---	------	---	--------

問3 朝食は食べますか。(○は1つ)

1	ほとんど毎日食べる	2	週4~5回食べる
3	週2~3回食べる	4	ほとんど食べない



(問3で「2 週4~5回食べる」「3 週2~3回食べる」「4 食べない」とお答えの方にお聞きします。)

問3-1 朝食を食べていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)







1	食べる時間がない	2	用意する時間がない	3	用意されていない
4	食欲がない	5	太りたくない	6	食べる習慣がない
7	食べなくても問題がない	8	その他(具体的に)		

問4 野菜料理を1日にどのくらい食べていますか。

野菜料理約70g(トマトなら半分、かぼちゃなら3切れ程度)を1皿として、例を参考に、お皿の数でお答えください。(○は1つ)

1	6皿以上食べる
2	4~5皿食べる
3	2~3皿食べる
4	1皿食べる
5	食べない

<1皿分の野菜料理の例>

		
トマト半分	かぼちゃ3切分	ほうれん草のお浸し 小鉢1皿分
		
具だくさんの味噌汁 お椀1杯分	サラダ 1皿杯(両手1杯)分	野菜炒め 1/2皿分

問5 外食を週に何回しますか。(〇は1つ)

(外食とは、飲食店での食事する場合、職場や外出先等の家庭以外の場所での出前をとったり市販のお弁当を買って食べる場合とします。家庭で作ったお弁当を職場で食べる場合は外食としません。)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 週14回以上(1日2回以上) | 2 週7~13回(1日1回程度) |
| 3 週2~6回 | 4 週1回 |
| | 5 ほとんど外食しない |

問6 食事を菓子やサプリメントで済ませることがありますか。(〇は1つ)

(ここでは、菓子(菓子パンを含む)、飲み物(コーヒー、紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、ドリンク剤のみの食事を言います)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 週14回以上(1日2回以上) | 2 週7~13回(1日1回程度) |
| 3 週2~6回 | 4 週1回 |
| | 5 ほとんどしない |

◆食卓での団らんについて

問7 家族(同居人を含む)そろって食事をするのはどのくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週に3~4日 | 3 週に1~2日 |
| 4 月に1~2日 | 5 ほとんど食べない | 6 一人暮らし |

問8 家族以外(友人・同僚・地域の人等)と食事をするのはどのくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週に3~4日 | 3 週に1~2日 |
| 4 月に1~2日 | 5 ほとんど食べない | |

問9 家族や友人・知人等と一緒に食事をしますか。(各項目に〇は1つ)

	ほとんど毎日	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	食べない ほとんど
(1) 朝食	1	2	3	4	5
(2) 昼食	1	2	3	4	5
(3) 夕食	1	2	3	4	5

次のページへ続きます

◆食育について

問10 食育という言葉や意味を知っていましたか。(○は1つ)

※食育とは、様々な体験を通して食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようにすることです。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 言葉も意味も知っていた | 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった |
| 3 言葉も意味も知らなかった | |

問11 食育に関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある | |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない | 5 わからない |



(問11で「1 関心がある」「2 どちらかといえば関心がある」とお答えの方にお聞きします。)

問11-1 何に関心がありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------------|
| 1 誰かと一緒に食べること | 2 1日3回食べること | 3 バランスのよい食事 |
| 4 食事のマナー | 5 食文化や行事食等 | 6 食の安全(食中毒、食品添加物) |
| 7 地産地消 | 8 その他() | |

問12 地域で食育に関する何らかの活動や行動をしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------------------|-----------------|------------|
| 1 積極的にしている | 2 できるだけしようとしている | 3 あまりしていない |
| 4 したいと思っている(機会があればしたい)が実際にはしていない | | |
| 5 したいと思わないし、していない | | |

問13 あなたの身近なところで食育を推進するために、必要な取り組みはどのようなものだと思いますか。ご自由にお書きください。

--

◆食の情報や安全について

問14 食品を購入するときに、表示で参考にしているものは次のどれですか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|-------------|-----------|---------------|
| 1 消費期限や賞味期限 | 2 栄養成分表示 | 3 内容量 |
| 4 原材料名 | 5 生産地や製造元 | 6 特定保健用食品等の表示 |
| 7 アレルギー表示 | 8 その他 () | |

問15 日頃の健康的な食生活を実践するため、参考にしているものはありますか。

(○はあてはまるもの3つまで)

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1 3色分類 | 2 食事バランスガイド | 3 6つの基礎食品群 |
| 4 日本人の食事摂取基準 | 5 食生活指針 | 6 特に参考にしていない |
| 7 その他 (具体的に:) | | |

<参考>食に関する主な指針

- 1 3色分類：食品の体内での主な働きを3つ（赤・黄・緑）に分けて、主な食品を分類したもの
- 2 食事バランスガイド：「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの
- 3 6つの基礎食品群：栄養成分の類似している食品を6群に分類したもの
- 4 日本人の食事摂取基準：1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの
- 5 食生活指針：望ましい食生活を実践するための指針

問16 食や食生活に関する情報源のうち、あなたが影響を受けるものは次のどれですか。

(○はあてはまるもの3つまで)

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 1 テレビ・ラジオ | 2 新聞 | 3 雑誌・本 |
| 4 ポスター・チラシ | 5 商品のラベル・パッケージ | 6 講演会・健康教室 |
| 7 インターネット | 8 市政だより | 9 家族・友人・知人 |
| 10 特になし | 11 その他 () | |

問17 各区役所（保健福祉センター）では、食育や健康づくりを推進するために、次の資格をもった職員がその活動していることを知っていましたか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | | |
|-----------|--------|-------|-------------|---------|
| 1 医師 | 2 歯科医師 | 3 保健師 | 4 管理栄養士・栄養士 | 5 歯科衛生士 |
| 6 その他 () | 7 知らない | | | |

次のページへ続きます

問18 川崎産の農産物があることを知っていますか。(〇は1つ)

※例えば、小松菜、ブロッコリー、のらぼう菜、
万福寺人参、柿等があります。

1 はい	2 いいえ
------	-------



問19 川崎産の農産物を購入したことがありますか。(〇は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問20 家庭で「行事食」を食べていますか。(〇は1つ)

※「行事食」の例 おせち料理、七草がゆ、ひな祭り、こどもの日、冬至、誕生日など

1 はい	2 いいえ
------	-------

◆災害時の非常食について

問21 災害時に備えて、非常用の食料や飲料を用意していますか。(〇は1つ)

※非常用の食料とは、そのまま食べられるか、お湯を足す程度の簡単な調理で済むものをいいます。

1 用意している	2 用意していない
----------	-----------

(問21で「1 用意している」とお答えの方にお聞きします)

問21-1 非常用の食料等としてどんなものを用意していますか。(あてはまるもの全てに〇)

1 主食(レトルトご飯、飯を乾燥させた加工米、乾パン等)
2 おかず(肉・魚等の缶詰、カレー、シチュー等のレトルト食品等)
3 飲料(水、お茶等)
4 その他()

◆あなたの健康について

問22 現在の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

1 とてもよい	2 よい	3 ふつう	4 あまりよくない	5 よくない
---------	------	-------	-----------	--------

問23 過去1年間に、健診(健康診断、健康診査、人間ドック等)を受けましたか。(〇は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

※がん検診のみを受診した場合、妊産婦検診、歯の健康診査、
病院等で行う診察としての検査は除きます。

問24 生活習慣病の予防及び改善のためにできることは何ですか。次の質問についてあてはまるものに○をつけてください。(各項目に○は1つ)

	ほとんど ありません	頑 張 ね ば い け な い	す し も の が あ り ま す	す し も の が あ り ま す が、 自 信 が な い	す し も の が あ り ま す
(1) よく噛んでゆっくり食べる	1	2	3	4	
(2) 減塩をする	1	2	3	4	
(3) 脂っこい食事を避ける	1	2	3	4	
(4) 食べ過ぎないようにする	1	2	3	4	
(5) 運動をしたり、日常生活でこまめに体を動かす	1	2	3	4	
(6) 定期的に体重を測る	1	2	3	4	

◆理想の食事・食卓について

問25 ご自身の食生活をどう思いますか。(○は1つ)

- 1 とてもよい 2 よい 3 少し問題がある 4 問題が多い
5 わからない

問26 あなたにとって理想的な食事・食卓はどのようなものですか。ご自由にお書きください。

問27 理想的な食事・食卓にするために何が必要ですか。ご自由にお書きください。

次のページへ続きます

◆あなた自身について

F1 性別（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

F2 年齢（○は1つ）

1 20～24歳	2 25～29歳	3 30～34歳	4 35～39歳
5 40～44歳	6 45～49歳	7 50～54歳	8 55～59歳
9 60～64歳	10 65～69歳	11 70～74歳	12 75歳以上

F3 職業（○は1つ）

1 自営業主	2 家族従業（家業手伝い）	3 勤め（全日）
4 勤め（パートタイム）	5 内職	6 主婦・主夫（家事専業）
7 学生	8 無職（年金生活者を含む）	9 その他（ ）

F4 平均的な勤務時間（残業含む）（○は1つ）

1 7時間未満	2 7～9時間未満	3 9～11時間未満
4 11時間以上	5 勤務していない（主婦・主夫、学生、無職の方）	

F5 現在の居住地（○は1つ）

1 川崎区	2 幸区	3 中原区	4 高津区
5 宮前区	6 多摩区	7 麻生区	

F6 身長・体重（小数点1けたまで）

身長 センチメートル 体重 キログラム

F7 現在、同居している家族の人数（あなた自身を含む）（○は1つ）

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人	5 5人	6 6人以上
------	------	------	------	------	--------

F8 同居している人（あてはまるもの全てに○）

1 配偶者	2 子ども	3 子どもの配偶者	4 孫
5 友人	6 パートナー	7 職場・仕事仲間	8 父母（あなた・配偶者の）
9 祖父母（あなた・配偶者の）	10 兄弟姉妹（あなた・配偶者の）	11 いない	
12 その他（具体的に			）

以上でアンケートは終わりです。ご協力大変ありがとうございました。

川崎市 食育の現状と意識に関する調査 報告書
平成28年3月

【編集・発行】〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
川崎市役所 健康福祉局 健康安全部健康増進課
電話044-200-2451（直通） FAX044-200-3986